

**資料3** アンケート結果

**龍ヶ崎市環境基本計画改定に伴うアンケート調査結果報告書**

平成 22 年 7 月

龍 ヶ 崎 市

# I 調査実施の概要

## 1 調査目的

龍ヶ崎市の市民・事業者の環境に対する意識、行政への要望等を把握することにより、龍ヶ崎市環境基本計画の改定及び各種施策のための基礎資料とすることを目的とする。

## 2 調査方法

(1) 対象地域：龍ヶ崎市全域

(2) 調査対象

市民アンケート

龍ヶ崎市在住の年齢 18 歳（H22.1.1 現在）以上の男女 1,050 人

事業者アンケート

龍ヶ崎市内の各業種 200 社

小学生アンケート

龍ヶ崎市内小学校 6 年生 813 人

(3) 抽出方法：市民アンケート

住民基本台帳から年齢別・地区別を考慮して無作為抽出。

(平成 21 年 10 月 1 日現在の地区別人口)

地区名	世帯数	人口				抽出数
		総数	総人口 割合	男	女	
龍ヶ崎地区	6,344	15,263	19.2%	7,667	7,596	200
大宮地区	1,438	3,942	5.0%	1,970	1,972	50
長戸地区	690	2,052	2.5%	1,024	1,028	50
八原地区	1,199	3,487	4.4%	1,769	1,718	50
馴染地区	6,334	15,618	19.7%	7,846	7,772	200
川原代地区	1,448	3,958	5.0%	1,937	1,985	50
北文間地区	1,185	3,510	4.4%	1,737	1,773	50
北竜台地区	6,954	20,144	25.0%	9,837	10,307	250
龍ヶ岡地区	3,917	11,204	14.0%	5,597	5,607	150
計	29,509	79,178		39,420	39,758	1,050

事業者アンケート

エコショップ・エコオフィス認定業者及びタウンページ掲載業者

600社から産業別事業者数を考慮して無作為に抽出

産業分類	事業所数	抽出割合	抽出数
農業（園芸を含む）	4	100%	4
林業	1	100%	1
鉱業	0	0%	0
建設業	13	100%	13
製造業	66	100%	66
電気・ガス・熱供給・水道業	4	100%	4
運輸・通信業	17	100%	17
卸売・小売業・飲食業	314	11.5%	36
金融・保険業	25	36.0%	9
不動産業	12	33.3%	4
医療・福祉	35	34.3%	12
サービス業	85	25.9%	22
その他（学校・保育所など）	24	50.0%	12
計	600		200

小学生アンケート

市内の小学校 13 校の 6 年生

学校名	対象学年生徒数 (H22. 4. 10 現在)
龍ヶ崎小学校	80 人
龍ヶ崎西小学校	48 人
大宮小学校	22 人
長戸小学校	15 人
八原小学校	146 人
馴馬台小学校	66 人
城ノ内小学校	65 人
馴柴小学校	104 人
松葉小学校	50 人
長山小学校	58 人
川原代小学校	38 人
北文間小学校	17 人
久保台小学校	104 人
計	813 人

### 3 調査期間

調査期間は、市民アンケート及び事業者アンケートについては平成22年3月18日から平成22年3月31日までの14日間を調査期間として締め切った。ただし、平成22年4月30日までに返送された調査票は有効として取り扱った。

小学生アンケートについては、平成22年4月13日から平成22年4月30日までの18日間としたが、期間内に回収できなかったものについても全て有効とした。

### 4 アンケートの配布・回収

市民アンケート

郵送によるアンケート配布・回収

事業者アンケート

郵送によるアンケート配布・回収

小学生アンケート

龍ヶ崎市教育委員会を通じて、各学校へ調査票を配布・回収

### 5 アンケートの回収状況

市民アンケート

標本数：1,050人      回収数：397人      回収率：37.8%

事業者アンケート

標本数：200社      回収数：102社      回収率：51.0%

小学生アンケート

標本数：813人      回収数：682人      回収率：83.9%

### 6 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入している。したがって、数値の合計が100.0%と一致しない場合がある。
- (2) 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。

## Ⅱ 市民アンケート調査結果

### 1 市民アンケート結果

市民アンケート調査結果では、各項目ともに前回実施した回答と全体的な傾向は変わりませんでした。今回のアンケートで、市民がもっと関心の高い環境問題は「温暖化・異常気象・酸性雨」であり、地球温暖化対策を行うべきであるとの認識を持っていることがうかがえました。

「地球温暖化対策で重要だと思うこと」の新たな設問に対して、市民の68.5%が「省エネ家電の導入促進」、次に57.2%が「冷暖房設定温度適正化の推進」をあげていました。身近に取り組むことができる温暖化対策の推進が重要です。

また、「環境問題に取り組むことについて困っていること」の設問では、36.8%の人が「環境問題の情報不足」をあげているなど、今後も環境に関する情報発信を強化していくことが必要です。

その他、自由意見では様々な意見が寄せられました。「緑や森を増やしてほしい」、「地球温暖化を防ごう」、「ポイ捨てごみを減らしたい」、「川をきれいにしてほしい」などに多くの意見が集中しました。

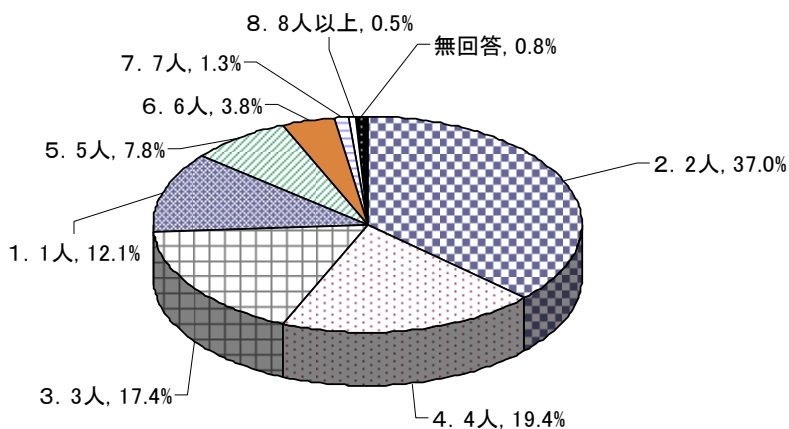
### 2 集計結果

#### (1) 属性

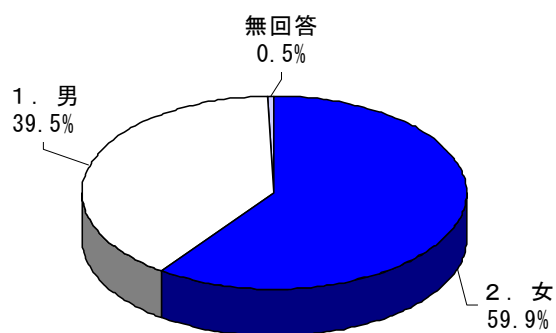
市民に対するアンケートの属性は、家族の人数は2人が最も多く37.0%、次いで4人、3人の順で、5人までが全体の93.7%を占め、性別では男性39.5%、女性59.9%でした。年齢別では、60歳代以上が最も多く47.46%、30歳代、50歳代の順で、居住年数では20年以上の方が67.8%という状況です。

また、居住地区では本市内9地区全てから回答を得ることができ、職業では主婦が最も多く28.5%、次いで無職18.9%、その他14.4%、製造業10.8%の順でした。

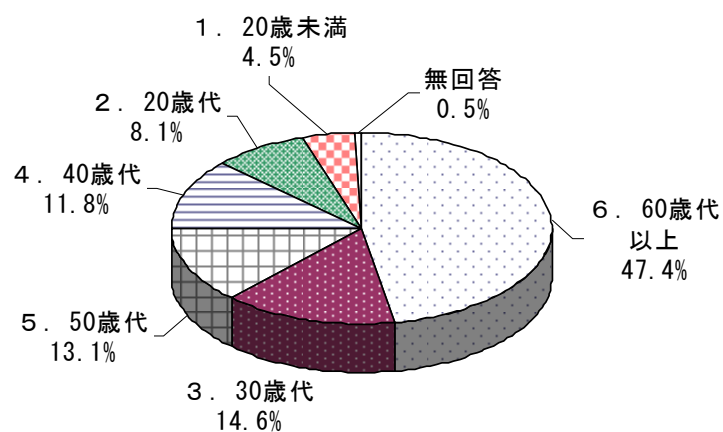
(質問1) あなたの家族はあなたを含めて何人ですか。該当するものに○をつけてください。



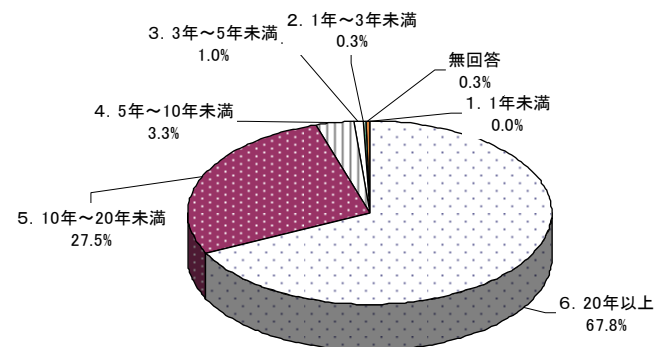
(質問2) あなたの性別に○をつけてください。



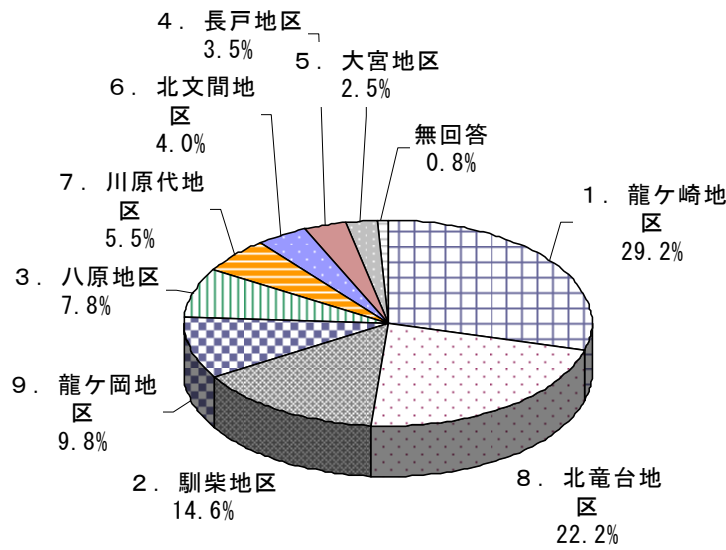
(質問3) あなたの年齢に○をつけてください。



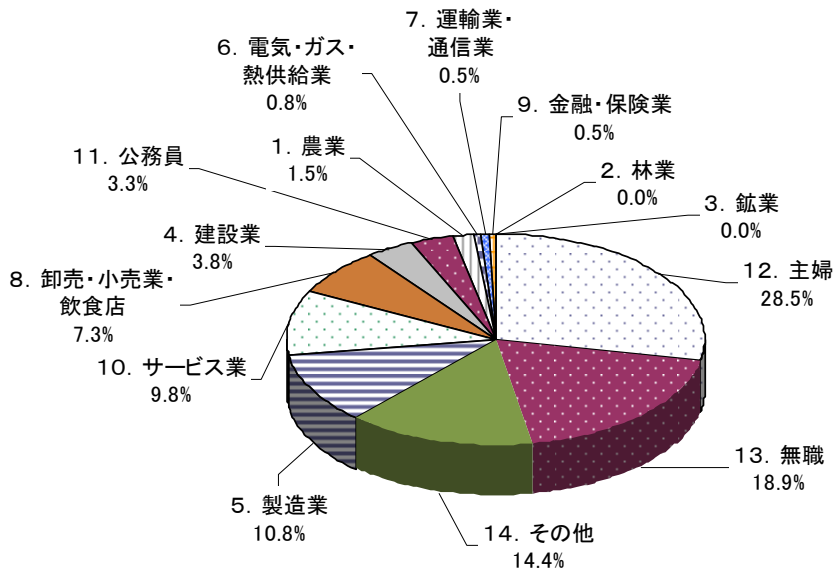
(質問4) 龍ヶ崎市に住んで何年になりますか。



(質問5) あなたの住んでいる地区に○をつけてください。



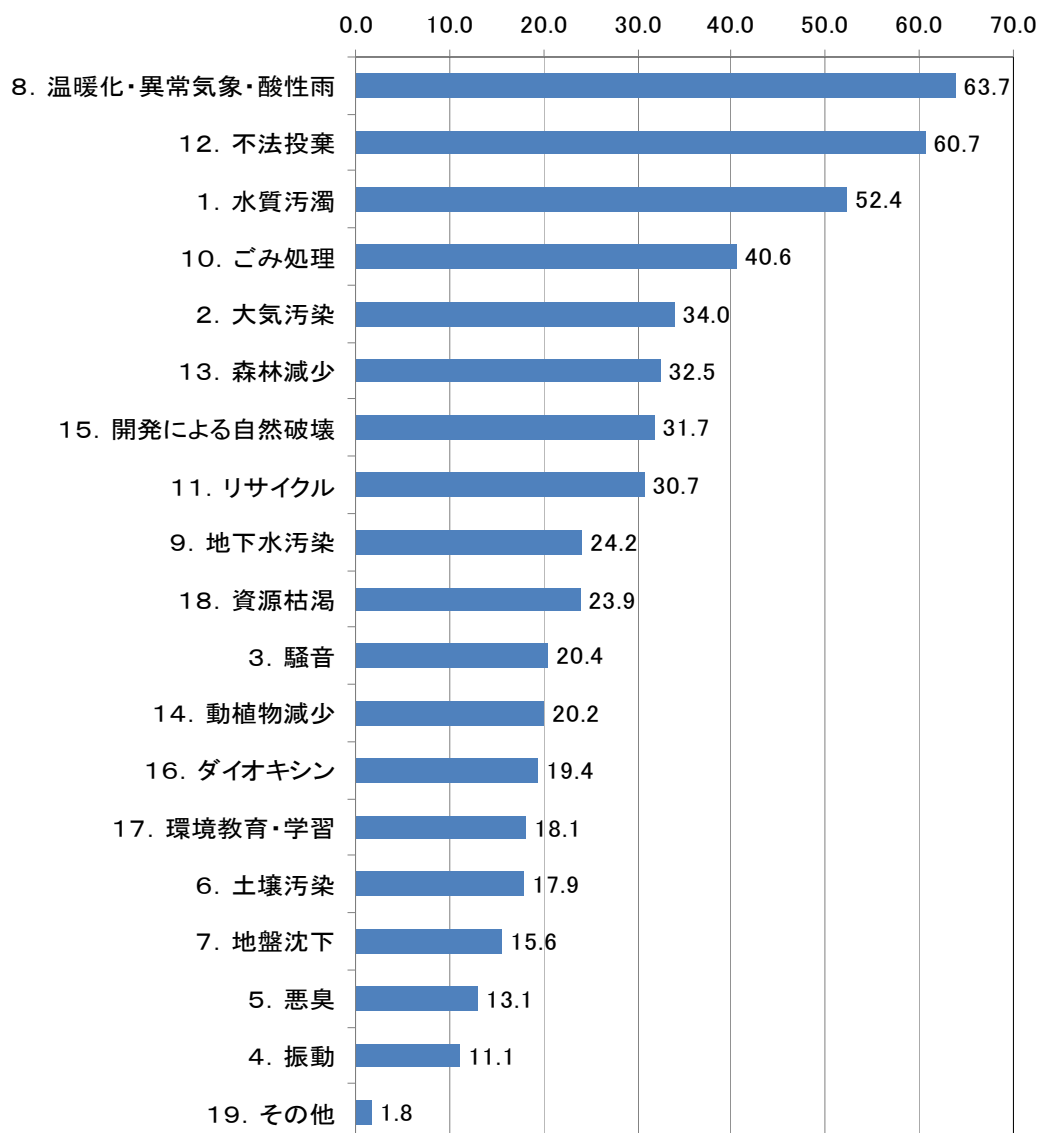
(質問6) あなたの従事している職業に○をつけてください。



(2) 気になる環境問題

気になる環境問題は、市民の関心の高い環境問題としては「温暖化・異常気象・酸性雨」(63.7%)、「不法投棄」(60.7%)、「水質汚濁」(52.4%)、「ごみ処理」(40.6%)、「大気汚染」(34.0%)をあげられています。その他としては、「ペット糞害」、「原子力発電、放射線汚染」などがあげられています。

(質問7) 最近あなたが気になる環境問題について、該当するものすべてに○をつけてください。





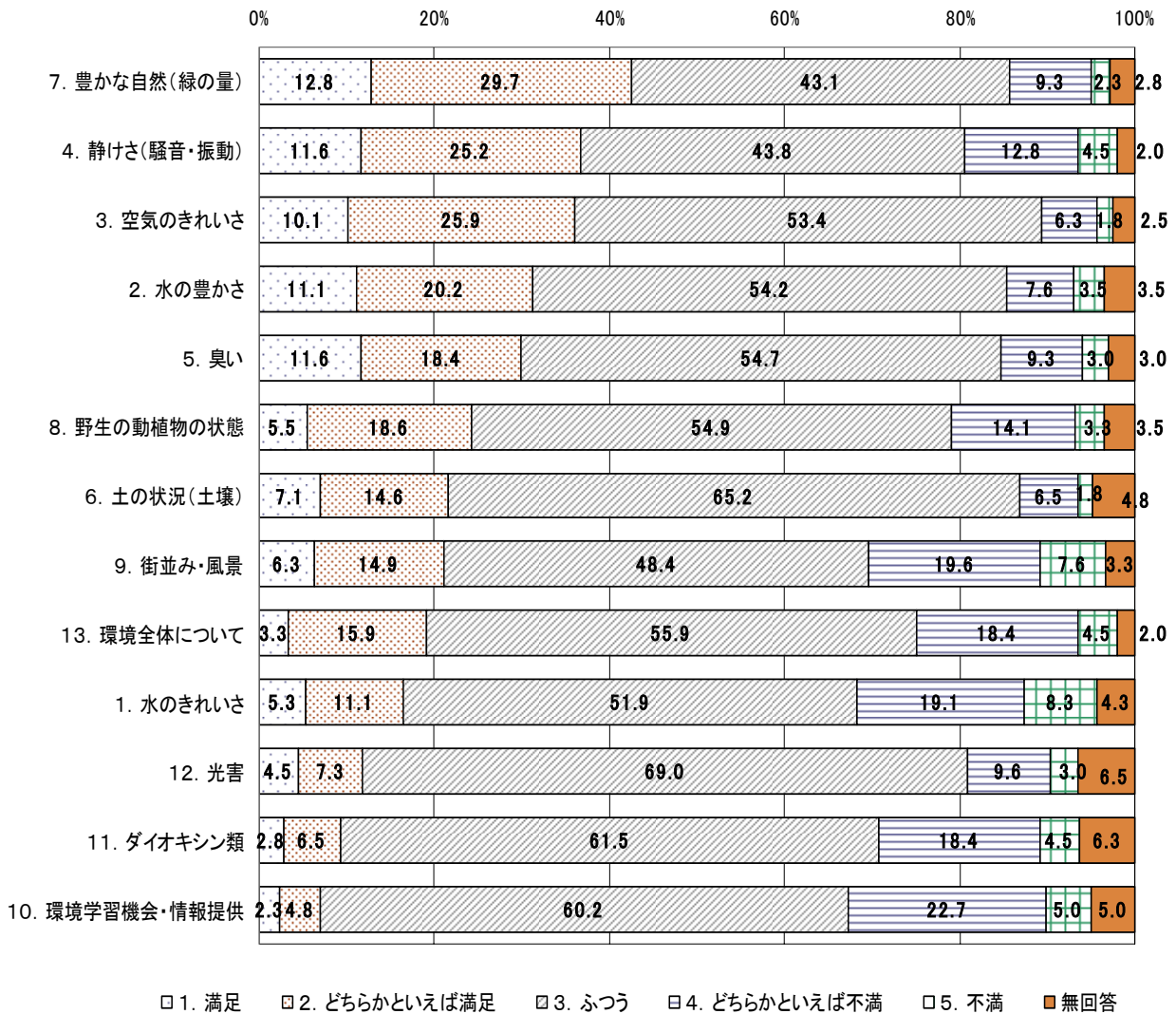
(3) 身の回りの環境について

① 龍ヶ崎市の環境に対する満足、不満足度

本市の環境に対する満足度（「満足」及び「どちらかといえば満足」と回答した割合）は、市民の42.5%が「豊かな自然」をあげており、次いで「静けさ」（36.8%）,「空気のきれいさ」（36.0%）,「水の豊かさ」（31.3%）の順でした。

また、不満足（「不満」及び「どちらかといえば不満」と回答した割合）は、「環境に関する学習の機会や情報提供」（29.7%）,「水のきれいさ」（27.4%）,「街並み・風景」（27.2%）の順でした。

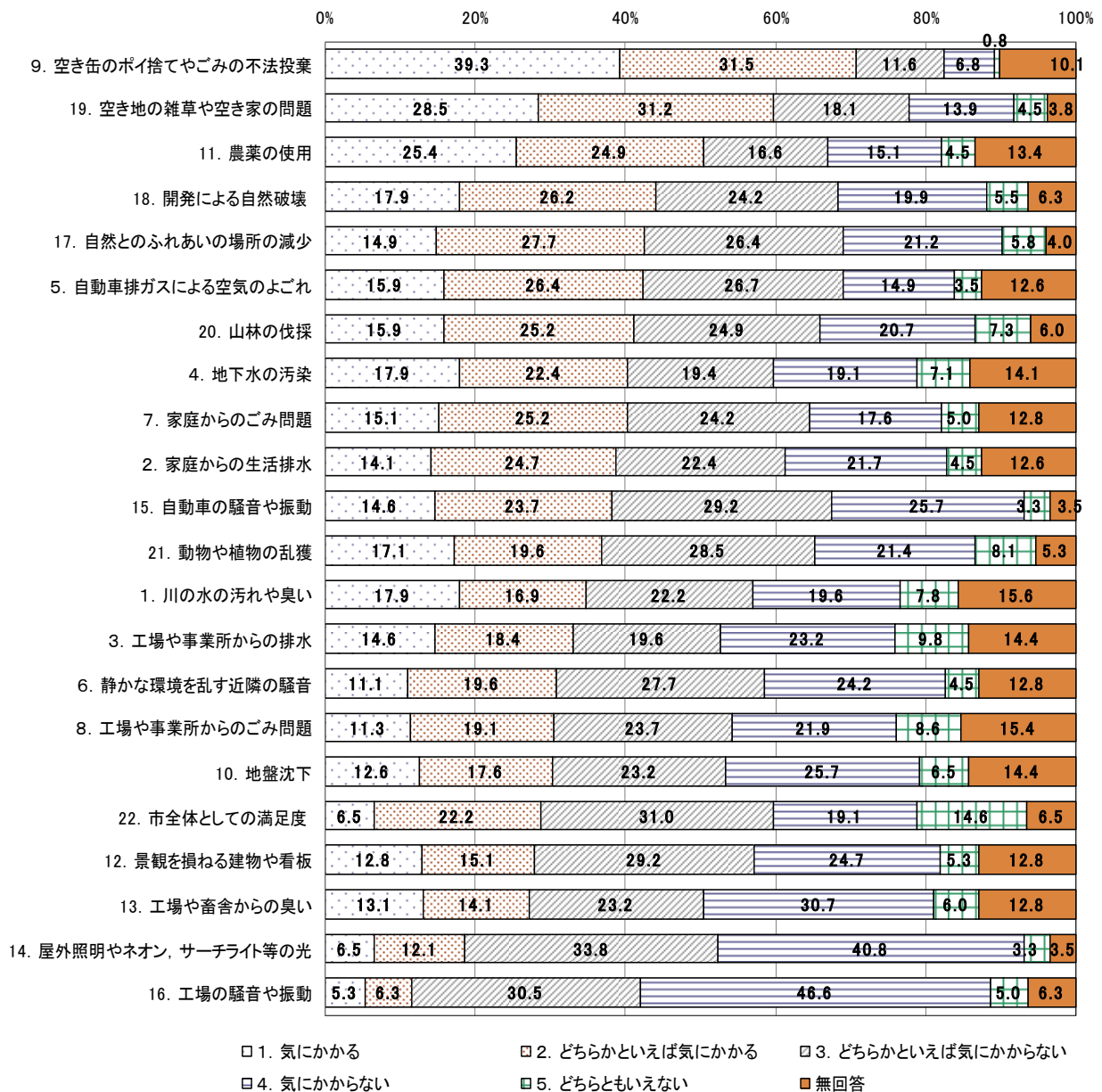
（質問8）あなたは龍ヶ崎市の環境に満足されていますか。質問ごとにいずれかのひとつに○をつけてください。



② 環境についての関心度

環境についての関心度（「気にかかる」及び「どちらかといえば気にかかる」と回答した割合）については、市民の70.8%が「空き缶のポイ捨てやごみの不法投棄」をあげており、次いで「空き地の雑草や空き家の問題」（59.7%）、「農薬の使用」（50.3%）、「開発による自然破壊」（44.1%）、「自然とのふれあいの場所の減少」（42.6%）、「自動車排ガスによる空気のごれ」（42.3%）など多くの項目に対する関心が高い結果でした。

（質問 9）あなたの住んでいる地区の環境について、質問ごとにいずれかひとつに○をつけてください。



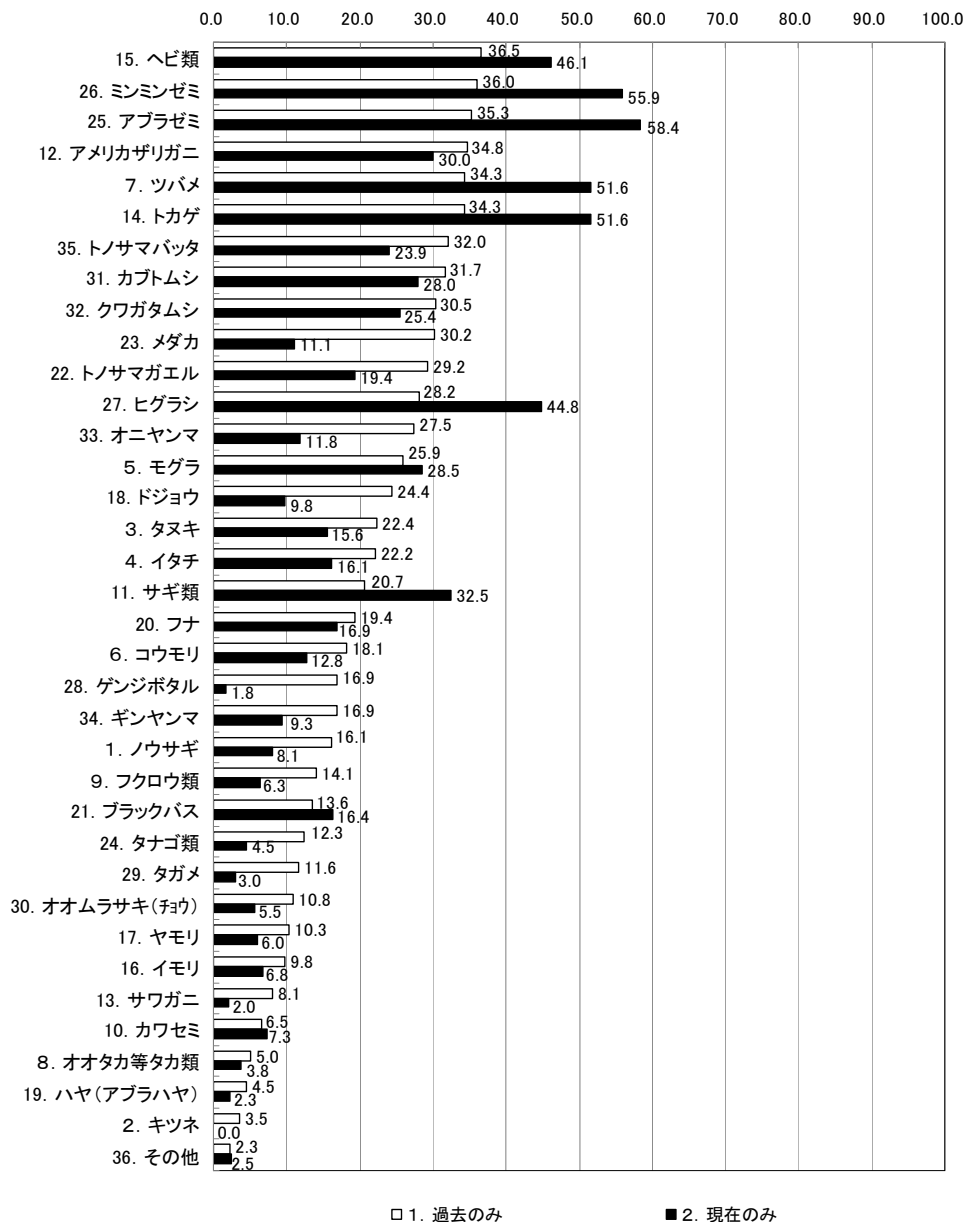
③ 近所で現在見られる、また過去に見られた野生生物

現在、近所で見られる野生生物については、市民の 58.4%が「アブラゼミ」あげており、次いで「ミンミンゼミ」(55.9%)、「ツバメ」「トカゲ」(51.6%)の順でした。また、過去に近所で見られた野生生物については、市民の 36.5%が「ヘビ類」をあげており、次いで「ミンミンゼミ」(36.0%)、「アブラゼミ」(35.3%)の順でした。

また、過去と現在を比較して、過去の方が多く見られた野生動物は「アメリカザリガニ」、「トノサマバッタ」など 25 種で、現在の方が多く見られる野生動物では、「ヘビ類」、「ミンミンゼミ」など 13 種類でした。

現在も「オオタカ類」、「ゲンジボタル」、「タガメ」などの豊かな自然環境に生息する種が見られるとの回答もありましたが非常に少ない結果でした。

(質問 10) あなたの近所で現在見られる、また、過去に見られた野生動物の名前すべてに○をつけてください。

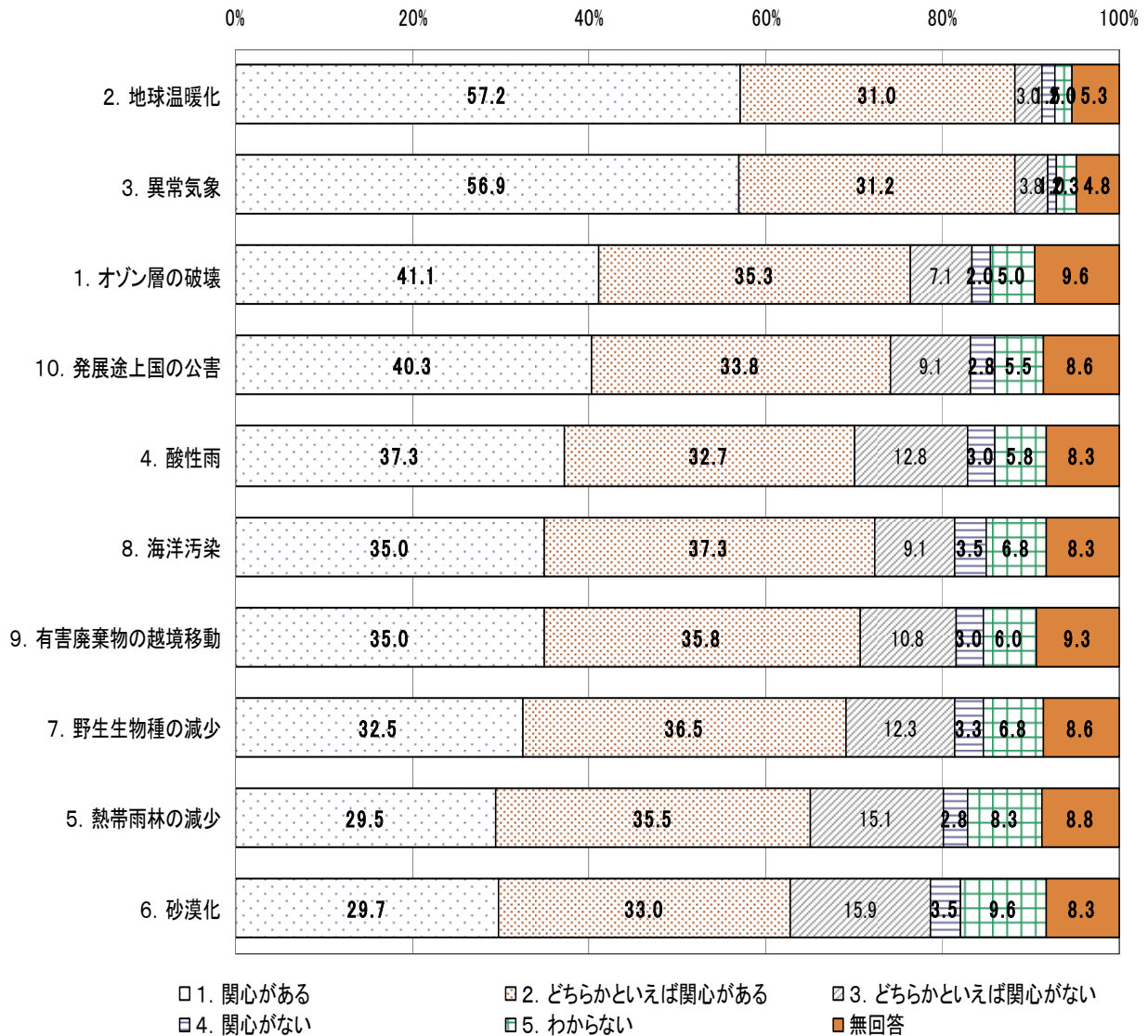


(4) 環境問題について

① 地球環境問題における関心度

地球環境問題における関心度（「関心がある」及び「どちらかといえば関心がある」と答えた割合）は、「地球の温暖化」（88.2%）が最も多く、次いで「異常気象」（88.1%）,「オゾン層の破壊」（76.4%）をあげており、その他の項目も含め全体的に関心の高さがうかがえます。

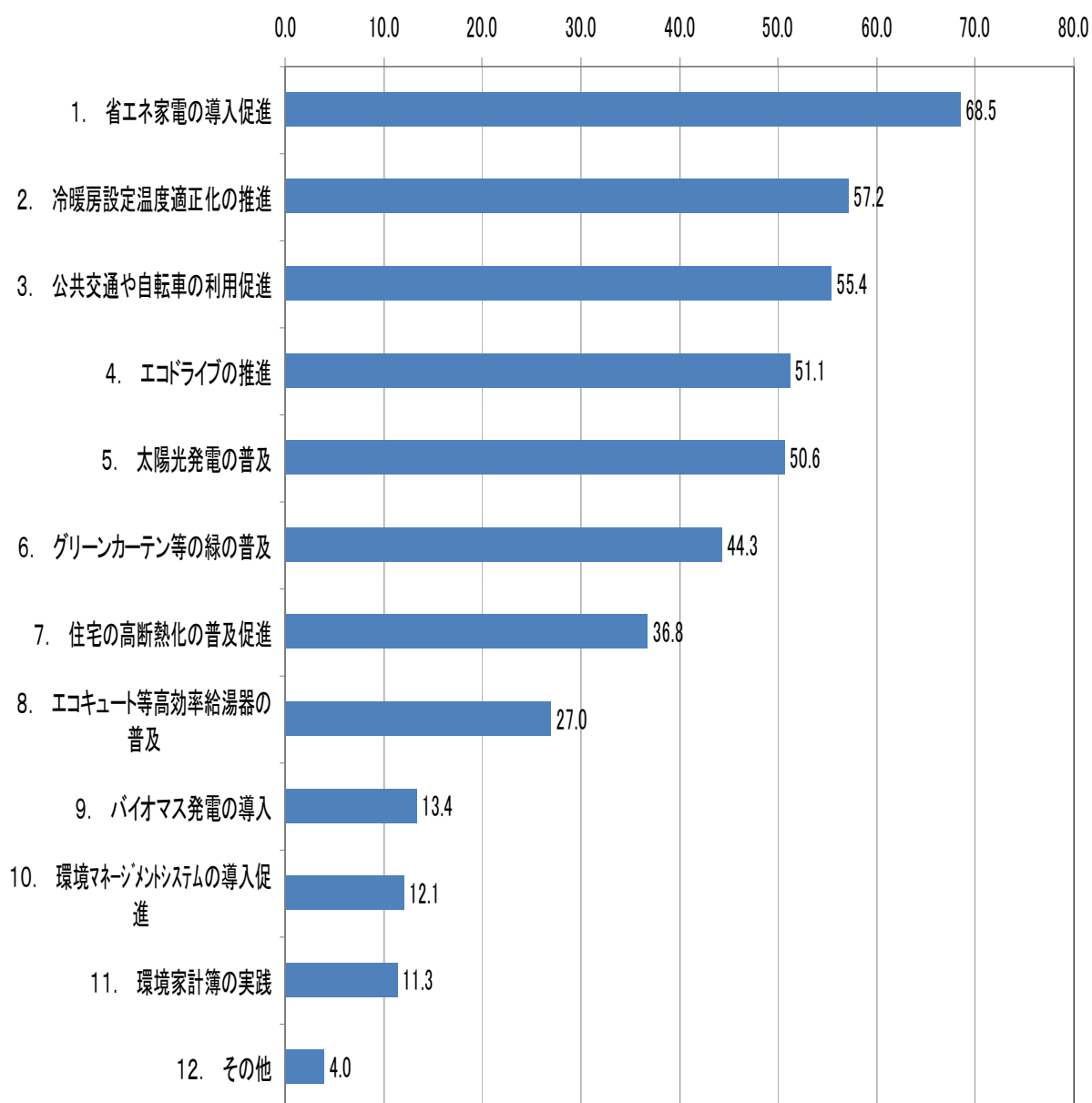
（質問 11）地球環境の問題できにかかるとはありますか。質問ごとにいずれかひとつに○をつけてください。



② 地球温暖化対策として重要だと考えていること

地球温暖化対策として重要だと考えていることについては、「省エネ家電の導入促進」(68.5%)が最も多く、次いで「冷暖房設定温度適正化の推進」(57.2%)、「公共交通や自転車の利用促進」(55.4%)、「エコドライブの推進」(51.1%)、「太陽光発電の普及」(50.6%)の順であり、身近に取り組める地球温暖化対策をあげています。

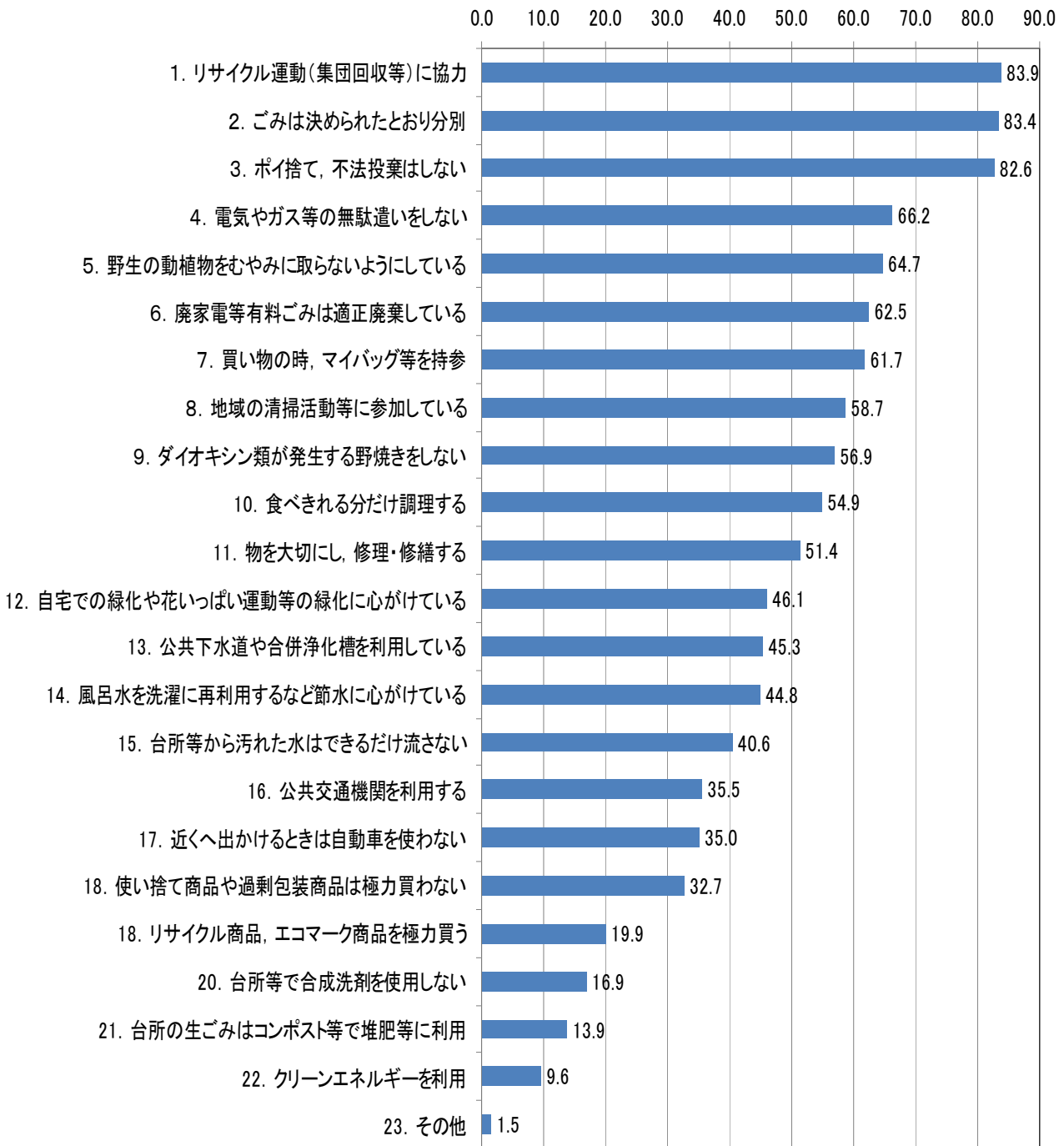
(質問 12) あなたが地球温暖化対策として重要だと考えるものすべてに○をつけてください。



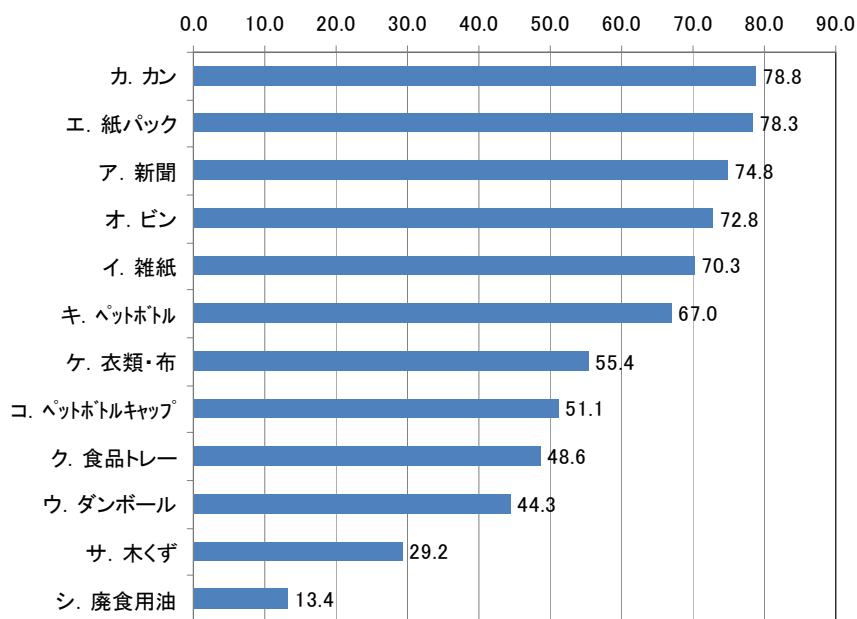
③ 環境を守るため、家族が日常生活で心がけていること

環境を守るため家族が日常生活で心がけていることについては、80%以上が「リサイクル運動（集団回収等）に協力している」、「ごみは決められたとおりに分別している」、「ポイ捨て、不法投棄はしない」をあげ、その他の項目も含め、ごみ処理に関する意識の高さがうかがえます。

（質問 13）あなたを含めたご家族が環境を守るため、日常生活で心がけている事はなんですか。該当するものすべてに○をつけてください。



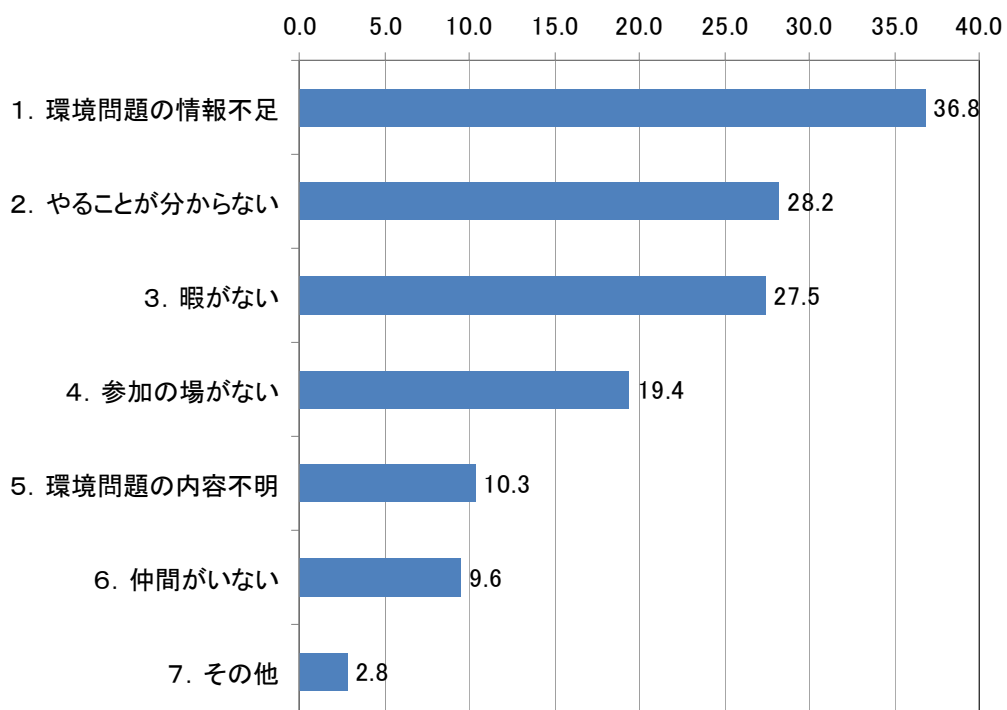
また、実際にリサイクル運動に取り組んでいるものは、「カン」(78.8%)が最も多く、次いで「紙パック」(78.3%)、「新聞」(74.8%)の順でした。



#### ④ 環境問題に取り組むことについて困っていること

環境問題に取り組むことについて困っていることは、36.8%が「環境問題の情報不足」をあげています。その他の項目としては「やる事が分からない」、「暇がない」、「参加の場がない」をあげています。

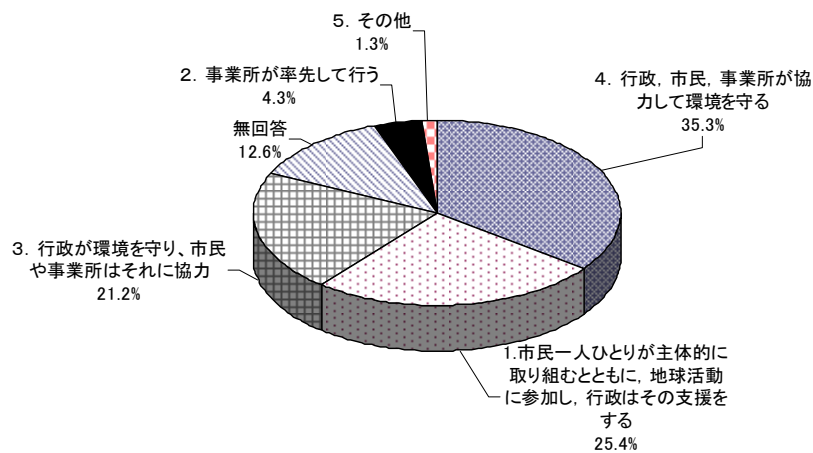
(質問 14) あなたが環境問題に取り組むことについて、困っていることは何ですか。該当するものすべてに○をつけてください。



### ⑤ 環境を守るための役割分担

環境を守るための役割分担については、35.3%が「行政、市民、事業者が協力して環境を守るため仕事を進めていくべきだ」をあげており、次いで「市民一人ひとりが主体的に取り組むとともに、地球活動に参加し、行政はその支援をする」(25.4%)をあげています。

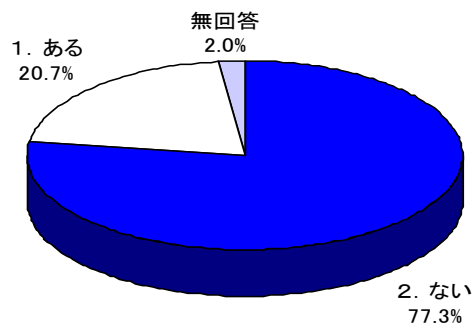
(質問 15) 環境を守るための役割分担で望ましいのは次のどれですか。該当するものいずれかひとつに○を付けてください。



### ⑥ 環境関連についての講習会等への参加

地球環境・水の汚れ・景観・リサイクル・ごみ問題等の環境関連についての講習会や学習会への参加については、77.3%が「ない」という結果でした。

(質問 16) あなたは、地球環境・水の汚れ・景観・リサイクル・ごみ問題等の環境関連についての講演会や学習会に参加したことがありますか。

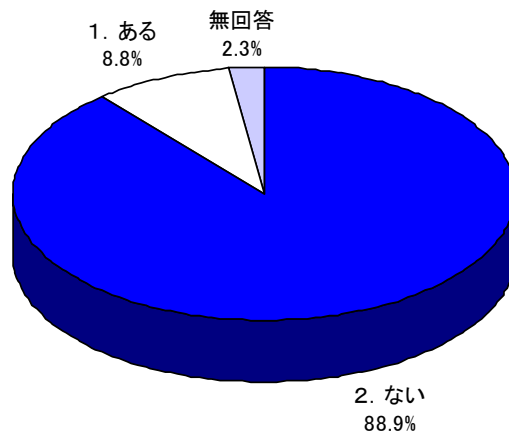




⑦ 「龍ヶ崎市環境白書」の閲覧状況

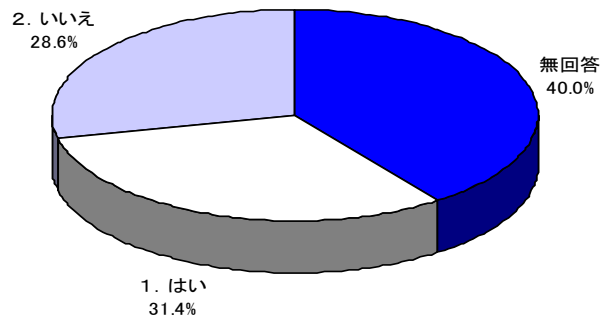
龍ヶ崎市では、毎年環境の概要を「龍ヶ崎市環境白書」として図書館、地区公民館、ホームページ等で公表していますが、ご覧になったことはありますかについては、88.9%が「ない」という結果でした。

(質問 17) 龍ヶ崎市では毎年環境の概要を「龍ヶ崎市環境白書」として図書館、地区公民館、ホームページ等で公表しています。あなたはご覧になったことがありますか。



また、「龍ヶ崎市環境白書」を見たことがある方のうち、ホームページで見た方が31.4%という結果でした。

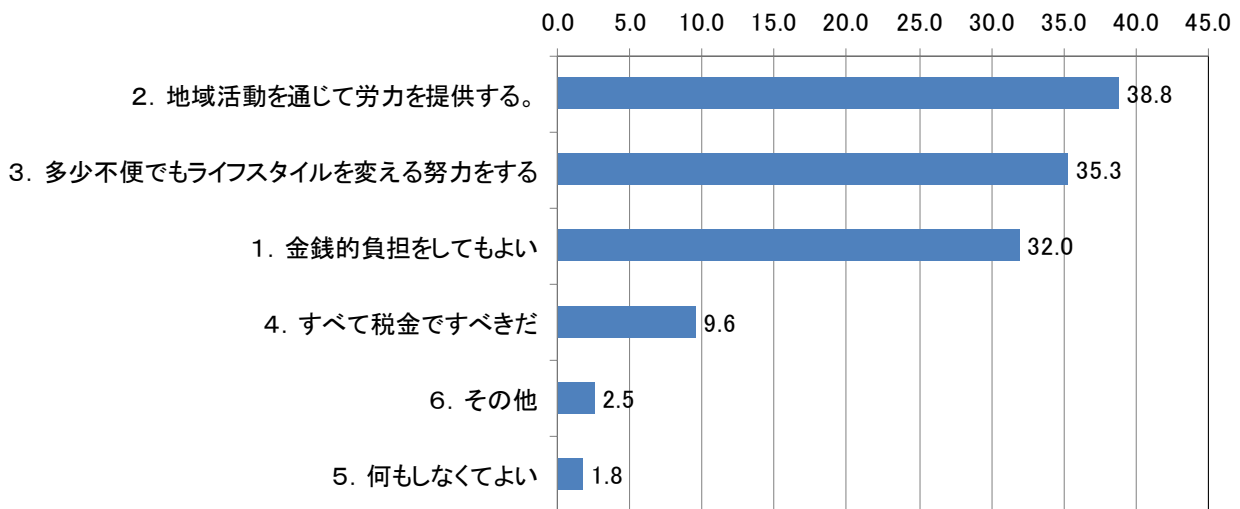
(質問 17-1) あなたは、ホームページでご覧になりましたか。



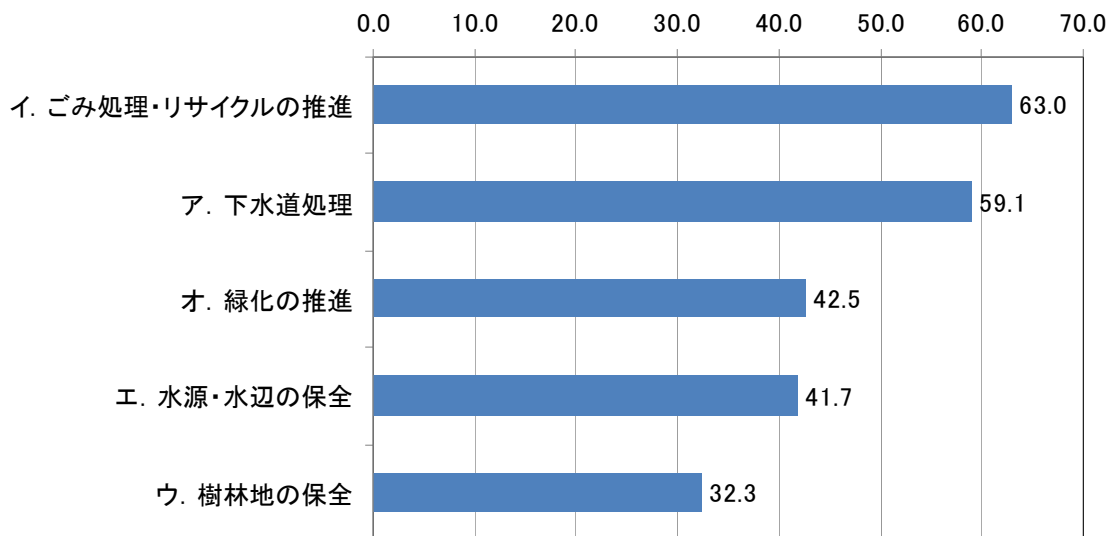
⑧ 環境を守るための金銭負担や労力の負担について

環境を守るために金銭的負担や労力の負担をすることについては、38.8%が「地域活動を通じて労力を提供する」をあげており、次いで「多少不便でもライフスタイルを変える努力をする」(35.4%)、「金銭的負担をしてもよい」(32.0%)の順でした。

(質問 18) あなたは環境を守るために金銭的負担や労力の負担をすることに対してどのようにお考えですか。該当するものすべてに○をつけてください。



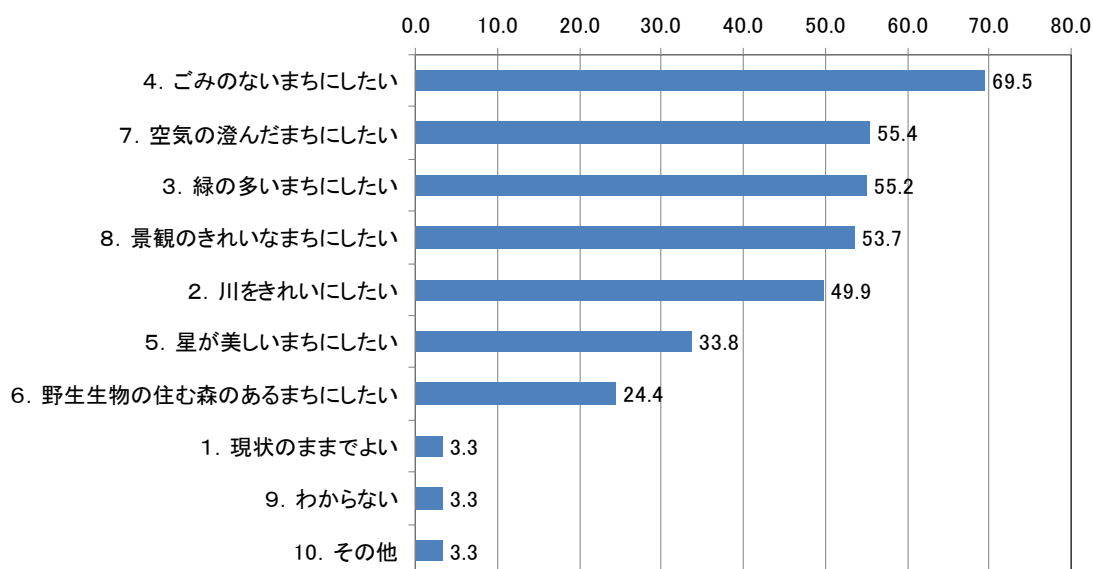
また、金銭的負担しても良い項目は何ですかの設問に対し、回答者の63.0%が「ごみ処理・リサイクルの推進」、59.1%が「下水道処理」をあげています。



⑨ 龍ヶ崎市の将来の環境

本市の将来の環境については、市民の 69.5%が「ごみのないまちにしたい」をあげており、次いで「空気の澄んだまちにしたい」(55.4%)、「緑の多いまちにしたい」(55.2%)の順でした。その他としては、「景観のきれいなまちにしたい」、「川をきれいにしたい」などがあげられています。

(質問 19) あなたは将来、龍ヶ崎市をどのような環境にしたらよいとお考えですか。該当するものすべてに○をつけてください。



⑩ 自由意見

(質問 20) 環境についてのあなたの意見を自由に記入してください。

意見内容	件数
環境意識の改善が必要	17
ポイ捨て・不法投棄が目立つ	7
旧商店街の復活	6
自然を残してほしい	6
職員も含めた、環境学習の充実化	5
ポイ捨て禁止の規定	5
野焼き問題	5
もっと市役所が動くべき	5
統制をきちんとしてほしい	5
川の清掃活動	5
現状のままでよい	5
緑・花を増やす活動	5

各家庭・個人で責任を持つ	4
新市長への期待	3
将来「竜ヶ崎に住んでみたい」と言われるような町にしたい	3
ペットマナー不足	3
リサイクル	3
省エネ製品の導入・過剰包装の禁止	3
動物を気使った環境	3
大きな・きれいな公園がほしい	3
雑草・雑木雑竹が邪魔	3
景観が悪いところがある	3
納得のいかない道路・施設がある	3
放置自転車の処理問題	2
情報不足	2
遊水池の管理	2
インターネットでのアンケートにすべき	2
交通の便が悪い	2
道路の舗装をしてほしい	2
街路樹・公園の木の管理	2
休耕田の活用	2
空気をきれいにしてほしい	2
竜ヶ崎駅の手入れ	1
環境改善に寄与する技術や製品の企業化を行政として支援	1
環境改善技術、省エネ技術等を新興国等へ転移していく国策が必要	1
地域の発展が見込めない	1
ビニール袋有料化	1
禁煙の規定	1
現状に満足	1
山林の中に焼却炉地帯がある	1
人員不足	1
野鳥の巣の近くなど、花火の場所を弁えてほしい	1
騒音行為の取りしまり	1
再生エネルギーへの切り替え	1
環境白書に興味を持った	1
牛久市のように市道の整備	1
シルバー人材の拡充	1
家畜・畜舎問題	1
外灯など、エネルギーの無駄使い	1
除草剤を使用する際に気遣ってほしい	1

下水道の掃除	1
ゴミ袋の価格維持	1
電線の地中化	1
水道の整備や井戸水のトラブル	1
私事で清掃活動に参加できない	1
イベントの充実化	1
異常気象が気にかかる	1
原発でのデメリットが気になる	1
大型開発の禁止	1
山林の手入れ	1
温暖化が気にかかる	1
市民が楽しく過ごせる環境が良い	1
生ゴミの回収	1

### Ⅲ 事業所アンケート調査結果

#### 1 事業所アンケート結果

事業者のアンケート調査結果では、各項目ともに前回実施した回答と全体的な傾向は変わりませんでした。

事業活動の中で日常的に取り組むことのできるものについては、高い実践率を示しているが、自由意見にもあるように費用のかかるものや事業所内の体制の整備などを必要とするものについては、まだ実践率が低い状況がうかがえました。

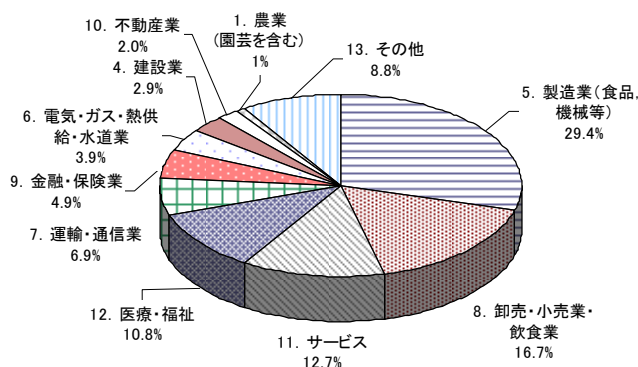
ただし、全体的には環境保全に対する事業所の果たす役割の重要性は高く認識されていることがうかがえ、環境改善のための資金融資など、事業所が積極的に取り組むための環境を整えることが必要といえます。

#### 2 集計結果

##### (1) 属性

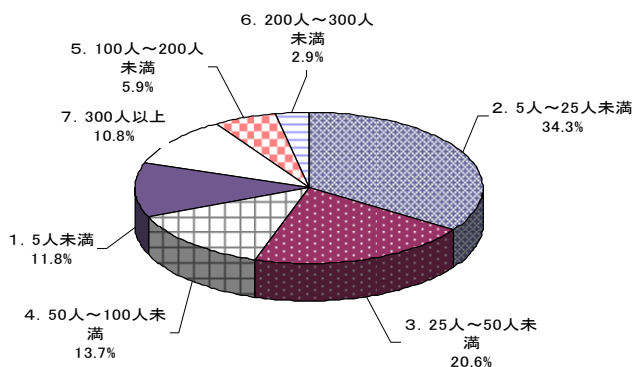
事業者に対するアンケートの属性は、業種としては「製造業」が最も多く(29.4%)、次いで「卸売・小売・飲食店」(16.7%)、「サービス業」(12.7%)、「医療・福祉」(10.8%)の順でした。

(質問1) 貴事業所の業種に○をつけてください。



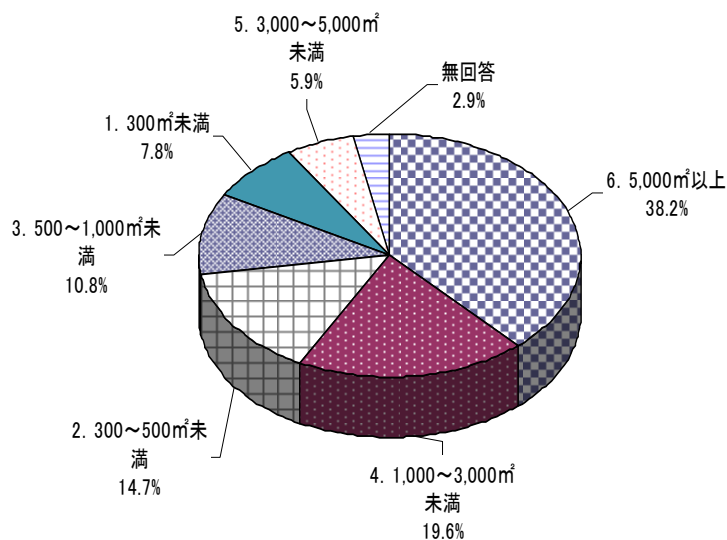
従業員については、「5人～25人未満」が最も多く(34.3%)、次いで「25人～50人未満」(20.6%)、「50人～100人未満」(13.7%)の順であり、「200人未満」の事業所が全体に占める割合の86.3%でした。

(質問2) 貴事業所の従業員数に○をつけてください。



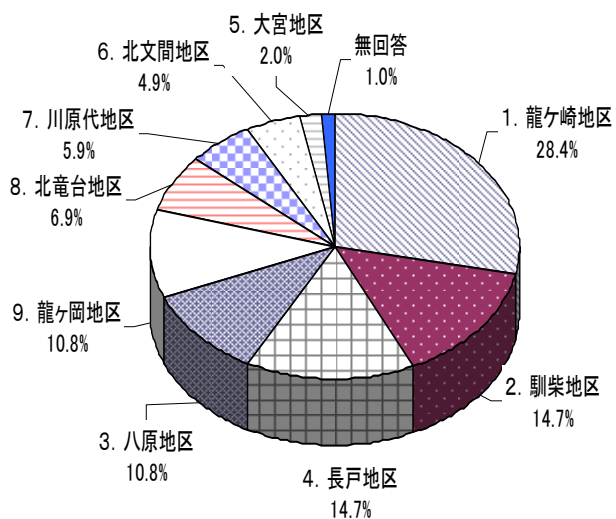
敷地面積については、「5,000㎡以上」が最も多く（38.2%）、次いで「1000㎡～3,000㎡」未満が（19.6%）の順でした。

（質問3）貴事業所の敷地面積に○をつけてください。



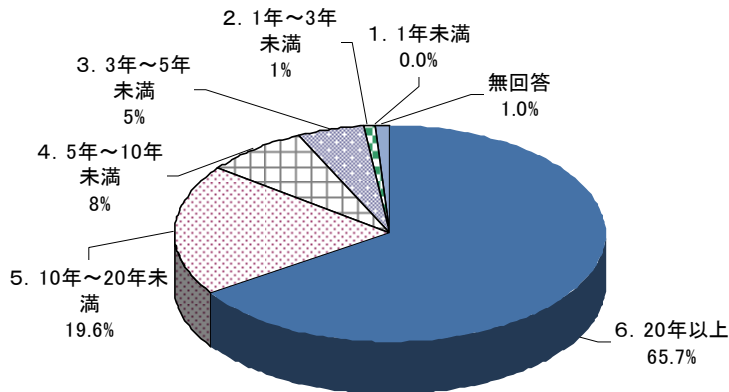
位置については、「龍ヶ崎地区」が最も多く（28.4%）、「駒柴地区」及び「長戸地区」が（14.7%）の順でした。

（質問4）貴事業所の位置に○をつけてください。（主たる事業所でお答えください。）



設置年数については、「20年以上」が最も多く（65.7%）、次いで「10～20年未満」は19.6%で、10年以上の事業所が全体で85%以上を占めています。

（質問 5）龍ヶ崎市に事業所を設置して何年になりますか。○をつけてください（主たる事業所でお答えください。）。



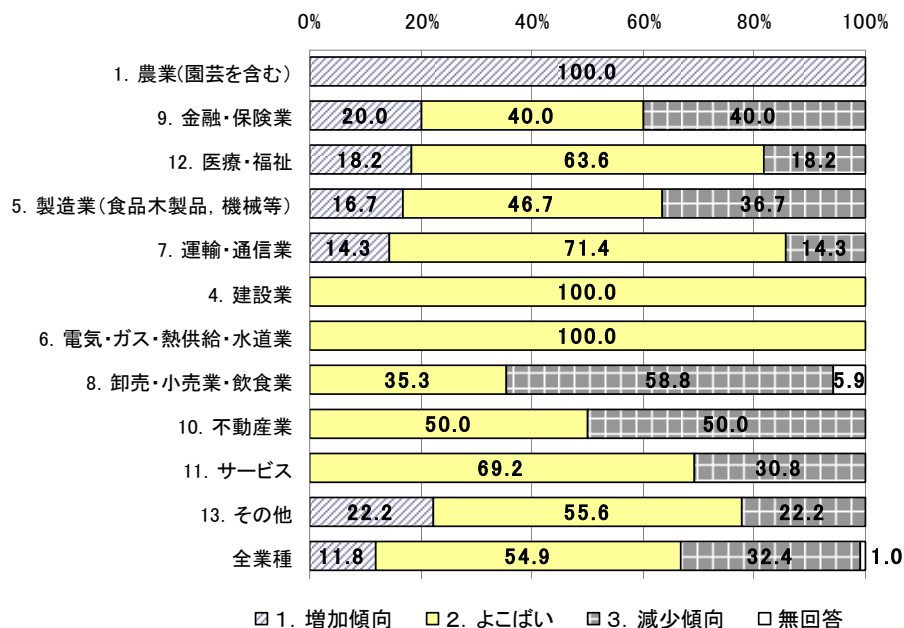
（2）エネルギー問題（地球環境）に対する取り組みについて

① 今後の電気使用量の方向

今後の電力使用量の傾向は、事業所の54.9%が「よこばい」という結果で、次いで「減少傾向」（32.4%）、「増加傾向」（11.8%）の順でした。

（質問 6）事業所における今後の電力・燃料使用量の傾向について、該当するものいずれかひとつに○をつけてください。

（電気）

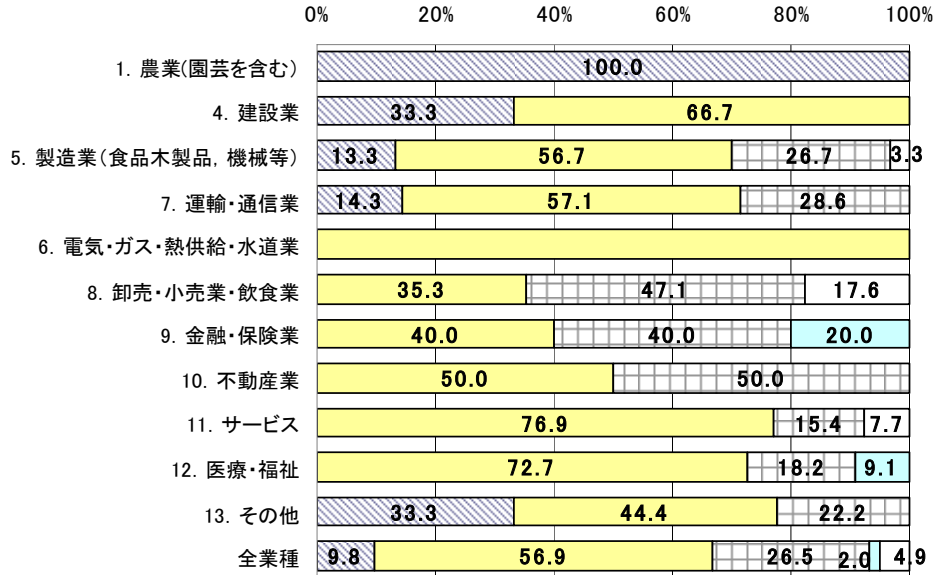




② 今後の燃料使用量の傾向

今後の燃料使用量の傾向は、事業所の56.9%が「よこばい」という結果で、次いで「減少傾向」(26.5%)、「増加傾向」(9.8%)の順でした。

(燃料)

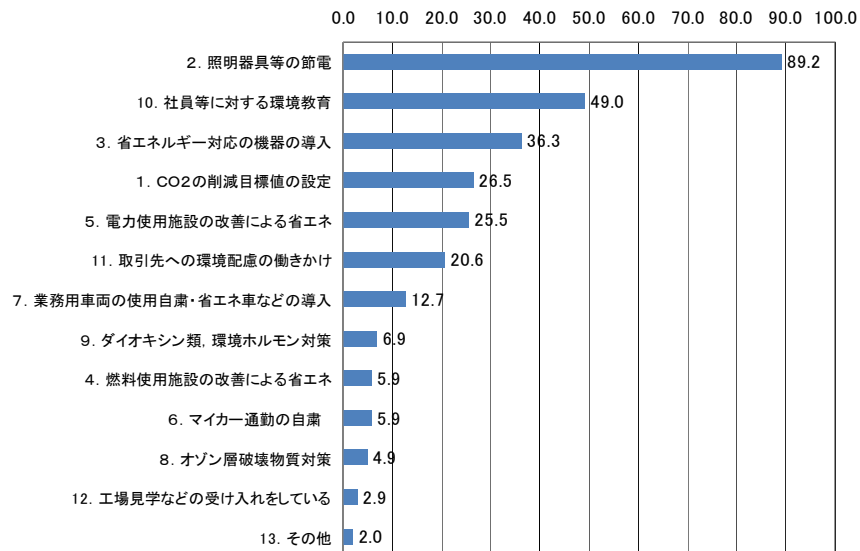


□ 1. 増加傾向 □ 2. よこばい □ 3. 減少傾向 □ 4. 把握していない □ 無回答

③ この一年間行っている地球環境問題(省エネ等)への取り組みについて

この一年間行っている地球環境問題(省エネ等)への取り組みについては、経済効果の高い「照明器具等の節電」が最も多く(89.2%)、次いで「社員等に対する環境教育」(49.0%)、「省エネルギー対応の機器の導入」(36.3%)の順でした。

(質問 7) 貴事業所のこの一年間行っている地球環境問題(省エネ等)への取り組みすべてに○をつけてください。

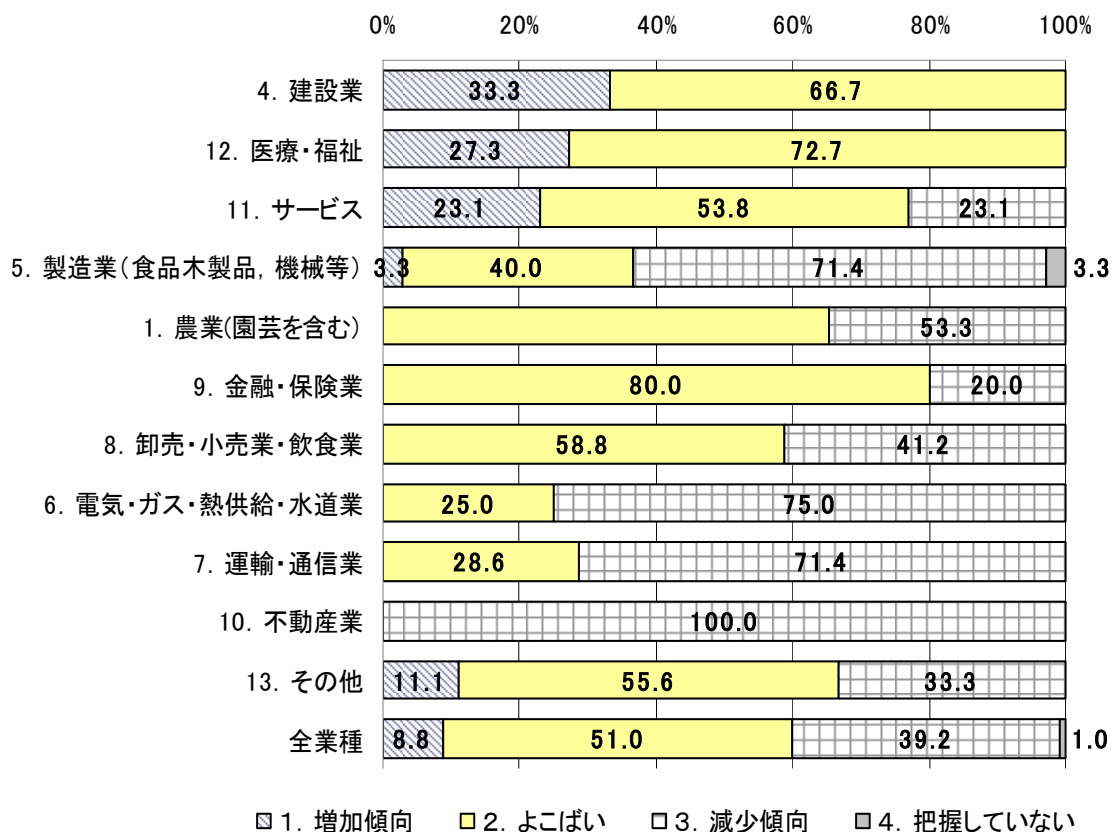


(3) 廃棄物について

① 今後の廃棄物量の傾向

事業所における今後の廃棄物量の傾向は、「よこばい」が最も多く（51.0%）が最も多く、次いで「減少傾向」（39.2%）、「増加傾向」（8.8%）の順でした。

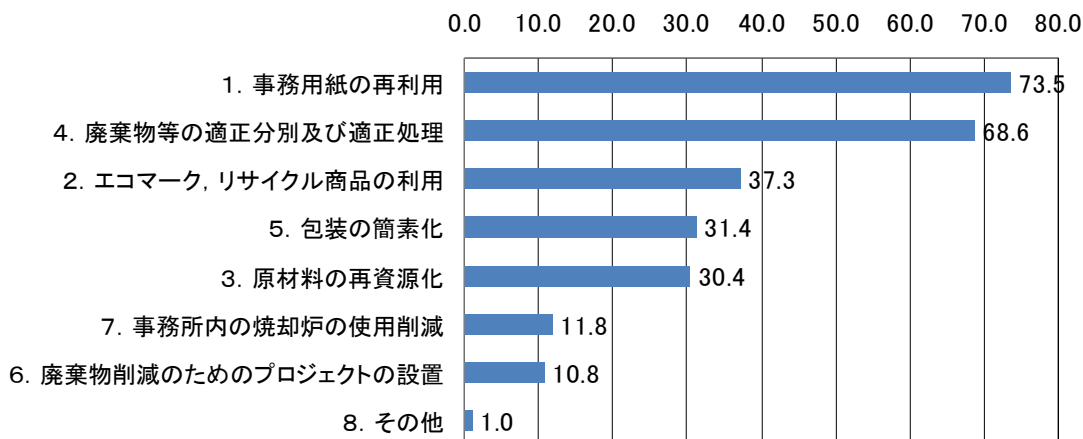
(質問 8) 貴事業所における今後の廃棄物量の傾向について該当するものいずれかひとつに○をつけてください。



② 現在行っている廃棄物への取り組み

現在行っている廃棄物への取り組みは、事業所の73.5%が「事務用紙の再利用」を行っており、次いで「廃棄物等の適正分別及び適正処理」（68.6%）と高い値を示しました。

（質問 9）貴事業所の現在行っている廃棄物への取り組みについて、すべてに○をつけてください。



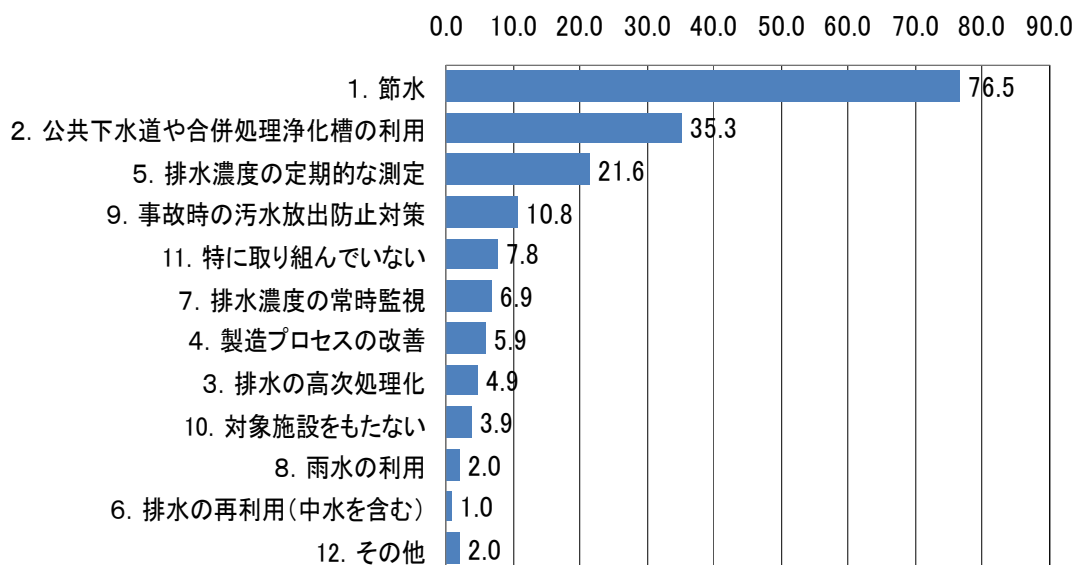
（4）地球環境への対応について

① 水環境に対する取り組み

水環境に対する取り組みは、「節水」（76.5%）が最も多く、次いで「公共下水道や合併浄化槽の利用」（35.3%）、排水濃度の定期的な測定（21.6%）の順でした。

また、平成14年度に実施したアンケート調査結果では、特に取り組んでいない事業所が17.7%でしたが、今回の調査では、7.8%と減少しています。

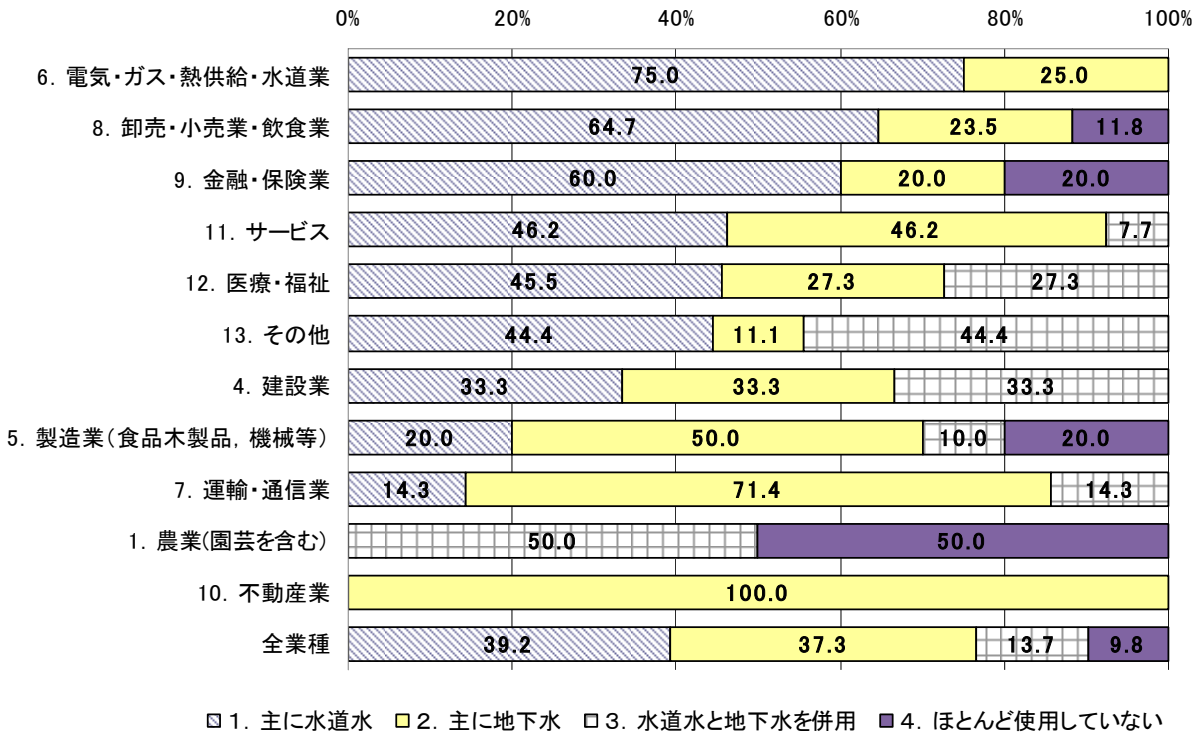
（質問 10）貴事業所が行っている水環境に対する取り組みに該当するものすべてに○をつけてください。



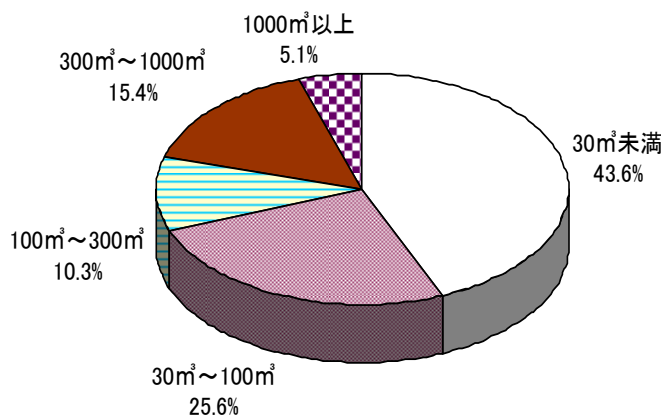
② 水利用

水利用については、事業所の39.2%が「主に水道水」を利用しており、次いで「主に地下水」(37.3%)、「水道水と地下水を併用」(13.7%)の順でした。

(質問 11) 貴事業所の水利用について該当するものいずれかひとつに○をつけてください。



また、一日あたりの水の使用量は、平均で約403 m<sup>3</sup>で、最小値は4 m<sup>3</sup>、最大値は10,000 m<sup>3</sup>でした。30 m<sup>3</sup>未満の比較的使用量の少ない事業所が全体の43.6%を占めています。

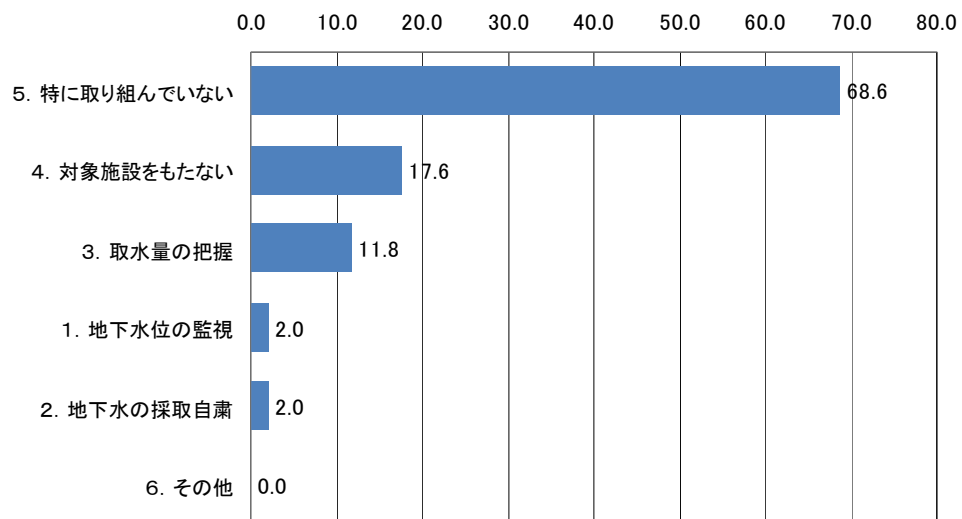


### ③ 地盤沈下に対する取り組み

地盤沈下に対する取り組みは、事業所の 68.6%が「特に取り組んでいない」という結果でした。

また、取水量の把握している事業所は（11.8%）でした。

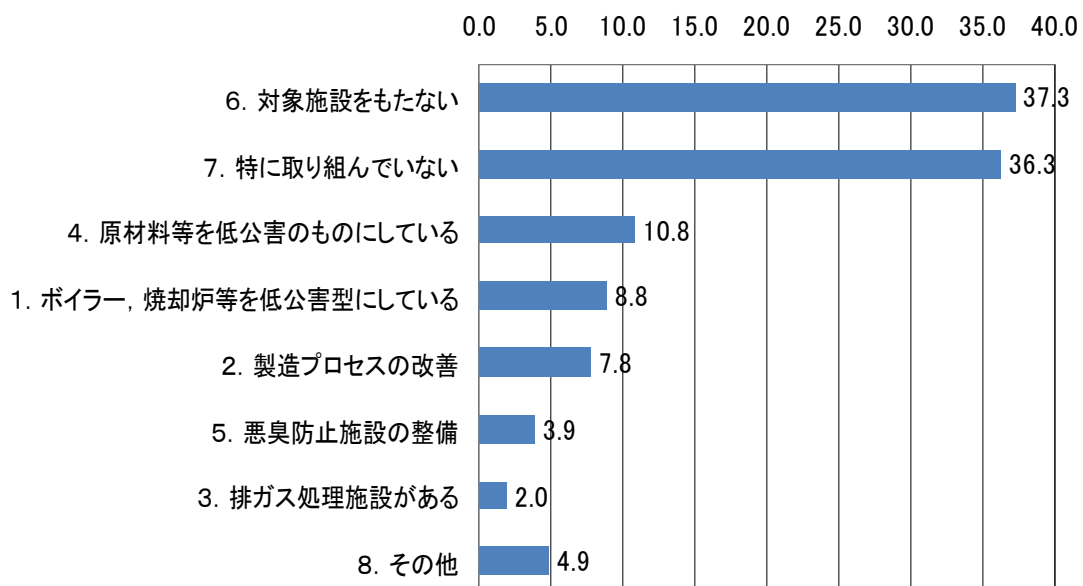
(質問 12) 貴事業所が行っている地盤沈下に対する取り組みの該当するものすべてに○をつけてください。



### ④ 大気汚染・悪臭に対する取り組み

大気汚染・悪臭に対する取り組みは、「原材料等を低公害のものにしている」（10.8%）、「ボイラー、焼却炉等を低公害型にしている」（8.8%）、「製造プロセスの改善」（7.8%）等でした。

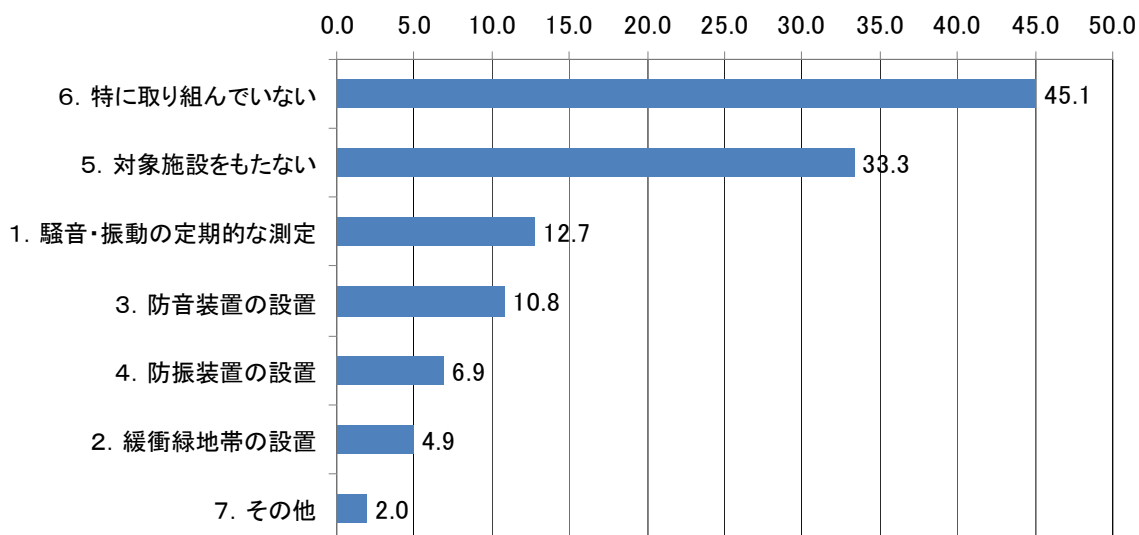
(質問 13) 貴事業所が行っている大気汚染・悪臭に対する取り組みに該当するものすべてに○をつけてください。



⑤ 騒音・振動に対する取り組み

騒音・振動に対する取り組みは、「騒音・振動の定期的な測定」(12.7%)、「防音装置の設置」(10.8%)等でしたが、「特に取り組んでいない」も45.1%と多い結果でした。

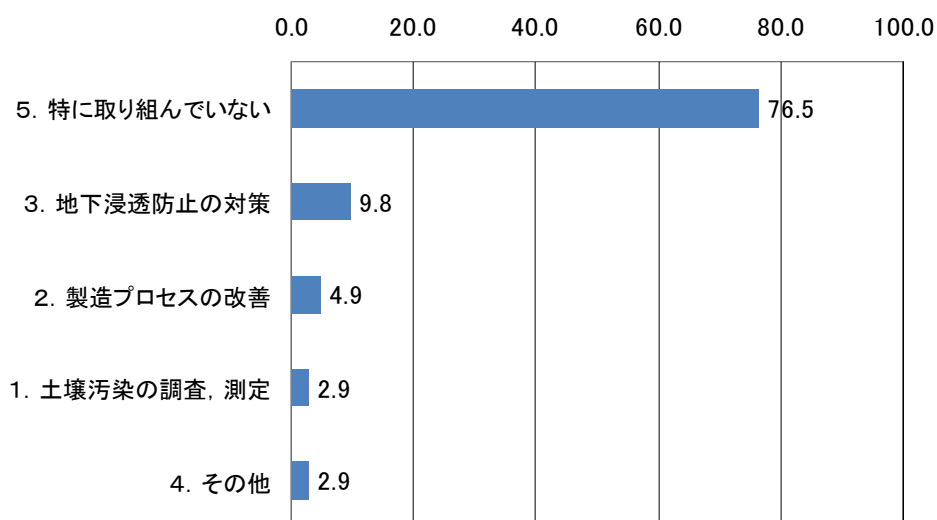
(質問 14) 貴事業所が行っている騒音・振動に対する取り組みに該当するものすべてに○をつけてください。



⑥ 土壌汚染に対する取り組み

土壌汚染に対する取り組みは、「地下浸透防止の対策」(9.8%)等でしたが、「特に取り組んでいない」も76.5%と多い結果でした。

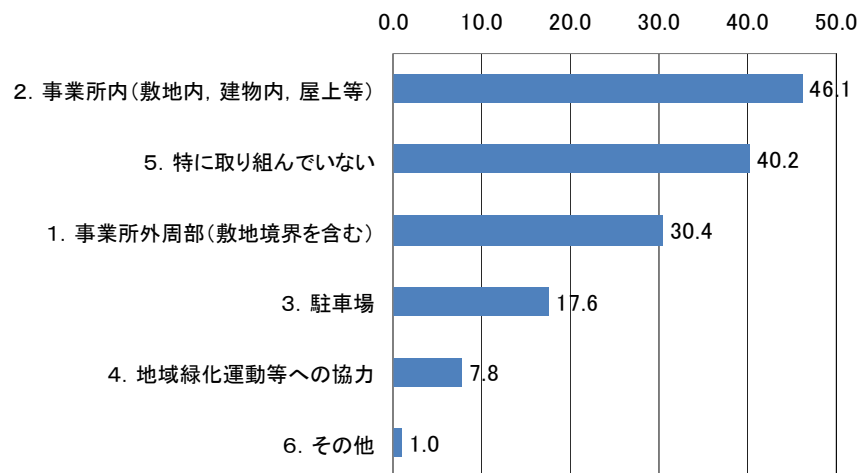
(質問 15) 貴事業所が行っている土壌汚染に対する取り組みに該当するものすべてに○をつけてください。



⑦ 緑化に対する取り組み

緑化に対する取り組みは、事業所の(46.1%)が「事業所内(敷地内, 建屋内, 屋上等)」をあげており, 次いで「事業所外周部(敷地境界を含む)」(30.4%), 「駐車場」(17.6%)でした。

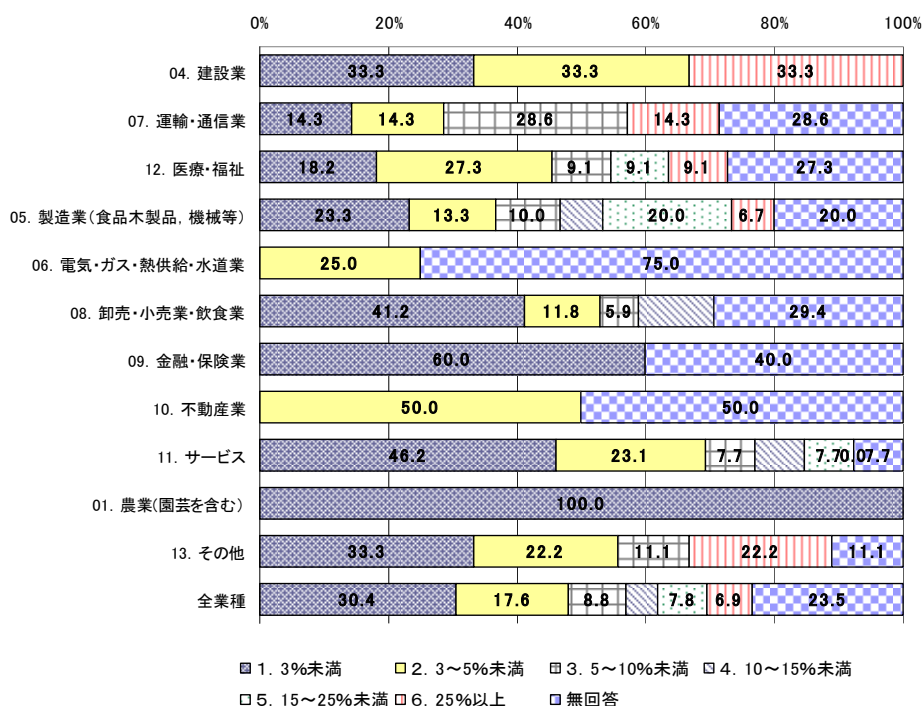
(質問 16) 貴事業所が行っている緑化(樹林など)に対する取り組みに該当するものすべてに○をつけてください。



⑧ 緑化に取り組んでいる面積

緑化に取り組んでいる面積は, 事業所の30.4%が「3%未満」であり, 次いで「3~5%未満」(17.6%)の順でした。

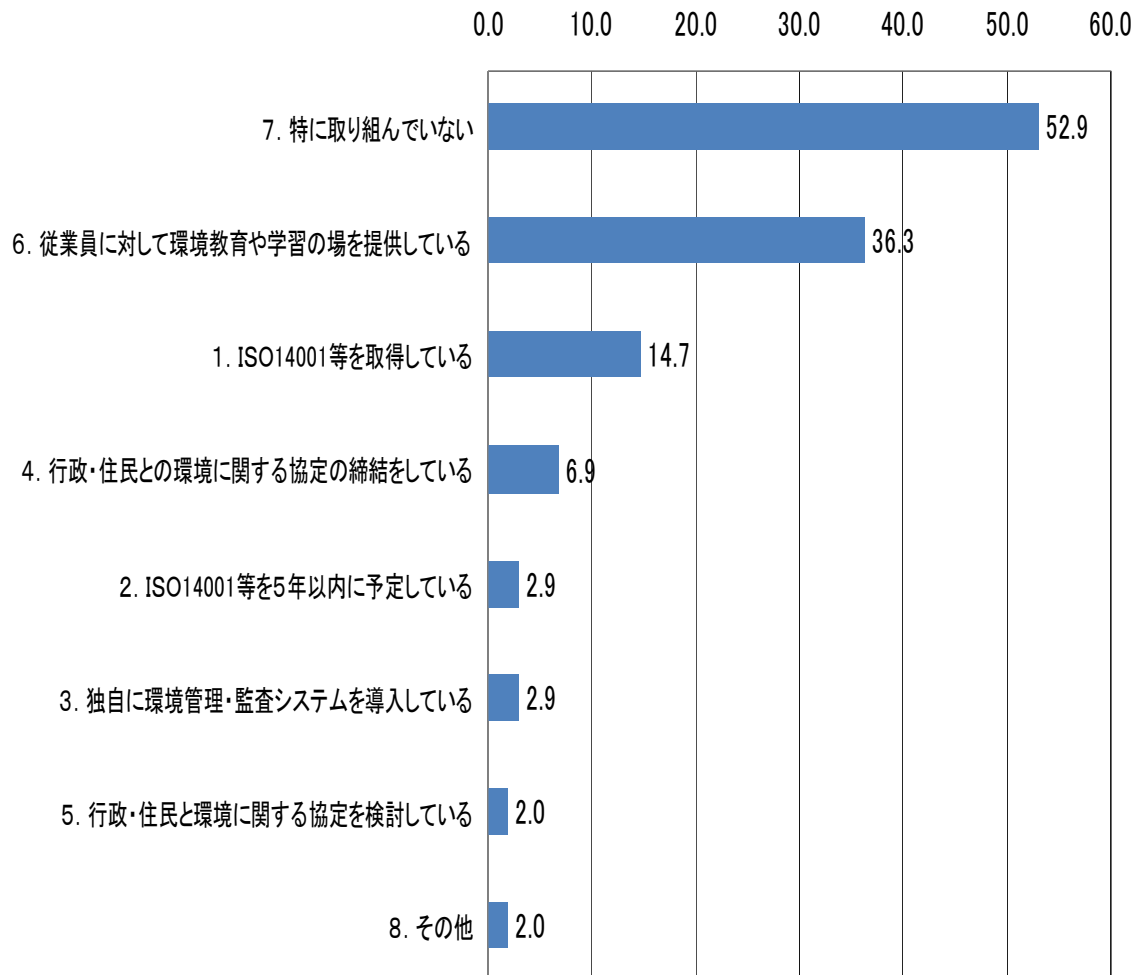
(質問 17) 貴事業所内で緑化に取り組んでいる面積は, 概ねどの程度の割合ですか。該当するものひとつに○をつけてください。



### ⑧ 環境保全への取り組み

環境保全への取り組みは、事業所の 52.9%が「特に取り組んでいない」という結果でした。また、環境保全への取り組みをしている事業所では、「従業員に対して環境教育や学習の場を提供している」(36.3%) が最も多く、次いで「ISO14001 等を取得している」(14.7%) でした。

(質問 18) 貴事業所の環境保全への取り組みについて該当するものすべてに○をつけてください。



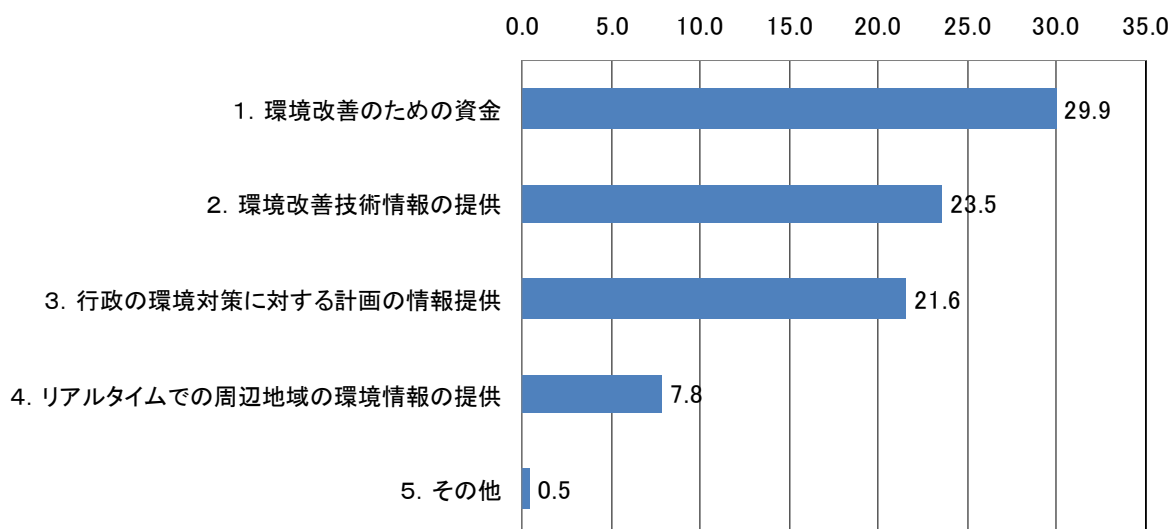
### (5) その他全般

#### ① 環境問題に取り組む際、必要なもの

環境問題に取り組む際、必要なものは「環境改善のための資金」が 29.9%と最も高く、次いで「環境改善技術情報の提供」(23.5%)、「行政の環境対策に対する計画の情報提供」(21.6%)の順でした。



(質問 19) 貴事業所が環境問題に取り組む際、特に必要なもの 2 つに○をつけてください。



## ② 自由意見

(質問 20) 環境についてのあなたのご意見を自由にご記入ください。

意見内容	件数
これまで特に環境問題について考えてことはなかった。まずは節電・節水等簡単なところから取り組みたい。	2
省エネルギーのため、節電等に努めている。	1
緑化の取り組みに対する近隣住民の苦情対応が困難です。	1
環境に関する書類の提出が増加し、費用負担も増加した。	1
県の工業試験場は遠く時間がかかるため、県南地区にはあっても良いと考える。	1
環境については、企業努力をしております。今後も継続改善に向けた活動を行っていきたいと思います。	1
上下水道の整備を早くしてほしい。	1

## IV 小学生調査結果

### 1 小学生アンケート結果

小学校のアンケート調査結果では、各項目ともに前回実施した回答と全体的な傾向は変わりませんでした。しかし、気にしている環境問題では、前回2番目であった「地球温暖化」の回答が1番目になっており、学校や家族、報道関連などから学習している様子が見えます。

また、自由意見では多く意見が寄せられました。「緑や森を増やしてほしい」、「地球温暖化を防ごう」、「ポイ捨てごみを減らしたい」、「川をきれいにしてほしい」などに多くの意見が集中しました。

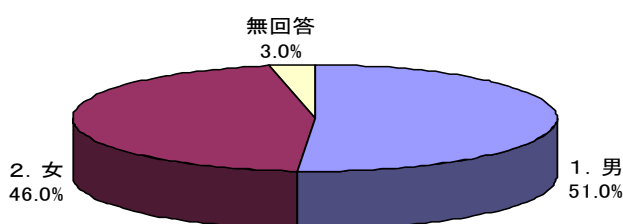
その他、「もっと環境について学びたい」という意見も寄せられるなど、今後も環境学習の場を増やしていく必要があります。

### 2 集計結果

#### (1) 性別

小学生に対するアンケート回答の性別の割合は、次の表のとおりです。

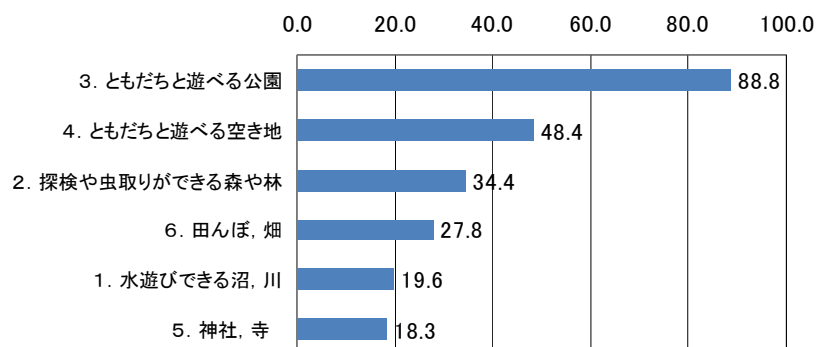
(質問1) あなたの性別に○をつけてください。



#### (2) 近所の遊び場所について

近所の遊び場所の 88.8%が「ともだちと遊べる公園」で、次いで「ともだちと遊べる空地」(48.4%)、「探検や虫取りができる森や林」(34.4%)の順でした。これは前回のアンケートと同じ順となっています。

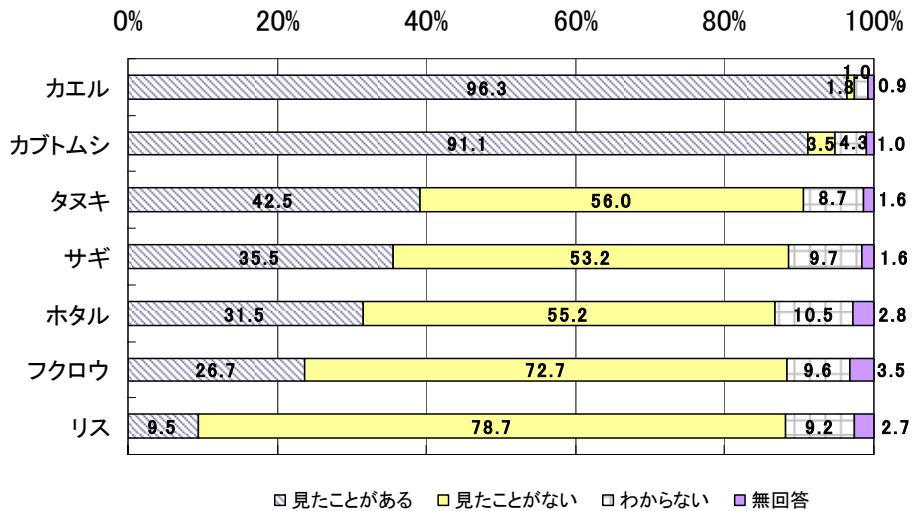
(質問2) あなたの近所にある、遊べる場所すべてに○をつけてください。



(3) 近所でみられる野生動物

近所で見られる野生動物果は、「カエル」(96.3%)が最も多く、次いで「カブトムシ」(91.1%)、「タヌキ」(42.5%)の順でした。

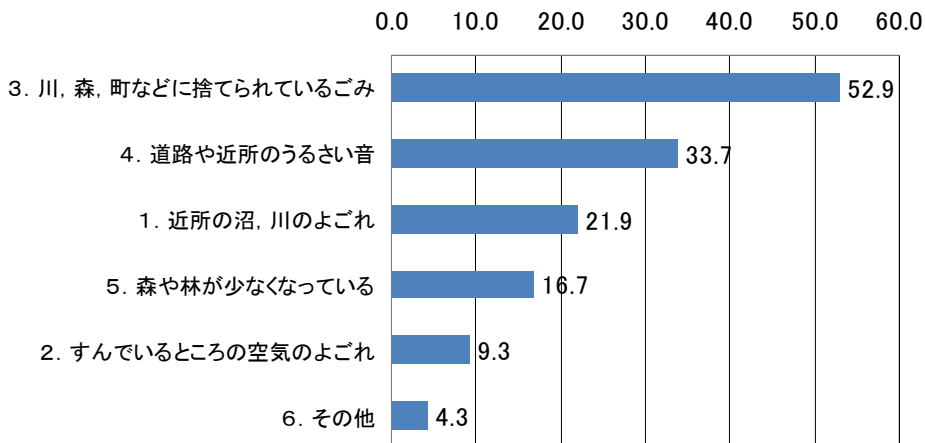
(質問3) あなたの近所で見られる野性の動物について、あてはまるものいずれかひとつに○をつけてください。



(4) 住まいのまわりの森林や川で気にかかっていること

住まいのまわりで気にかかっていることについては52.9%が「川、森、町などに捨てられているごみ」で、次いで「道路や近所のうるさい音」、「近所の沼、川のごれ」があげられました。市民アンケート結果と同様に「ごみの問題」、「騒音」、「川の汚れ」が気にかかっているという結果でした。

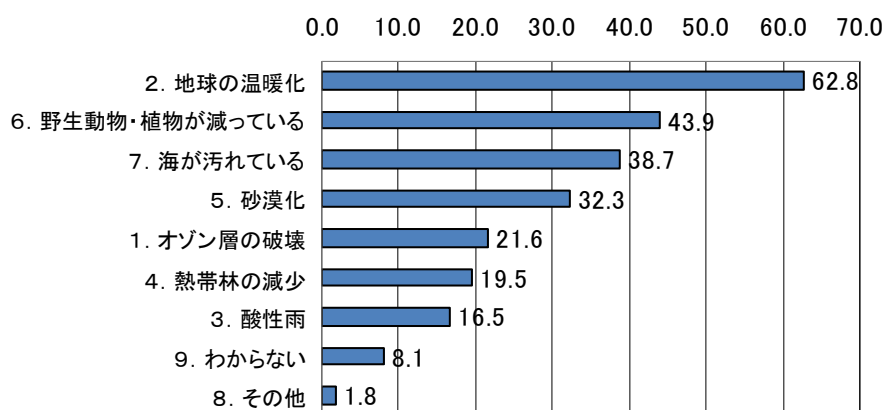
(質問4) あなたの住まいのまわりであなたが気にかかっていることは何ですか。気にかかっているものすべてに○をつけてください。



(5) 気にしている環境問題について

小学生が気にかかっている環境問題については 62.8%が「地球の温暖化」で、次いで「野生動物・植物が減っている」、「海が汚れている」の順になっており、前回のアンケートでは2番目の「地球温暖化」が1番に変わりました。世界的規模の問題で注目が高まり、学習の機会も多くなっていることがうかがえます。

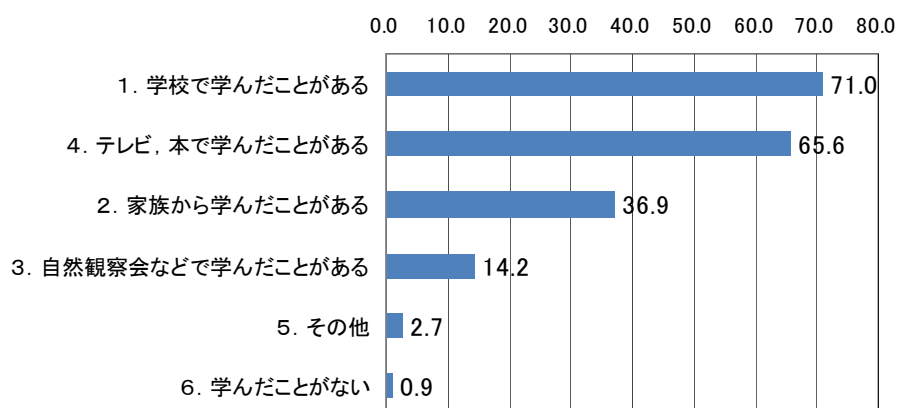
(質問5) 次の項目であなたが気にかかっていることは何ですか。気にかかっているものすべてに○をつけてください。



(6) 環境問題についての学習経験について

環境問題の学習経験については、「学校で学んだことがある」(71.0%)が最も多く、次いで「テレビ・本で学んだことがある」(65.6%)、「家族から学んだことがある」(36.9%)の順で、自然観察会などの機会は少ないことがうかがえます。

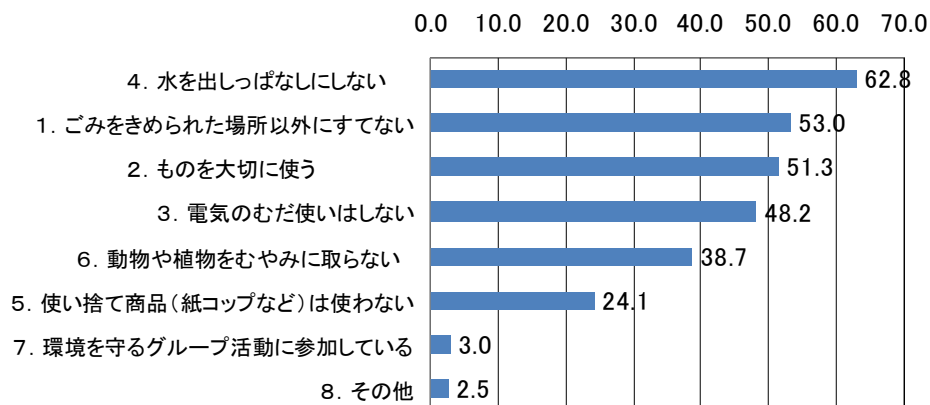
(問6) あなたは地球温暖化やリサイクルなどの環境問題について学習したことがありますか。該当するものすべてに○をつけてください。



(7) 環境を守るために日頃からしていることについて

環境を守るためにしている行動としては 62.8%が「水を出しっぱなしにしない」で、次いで「ごみを決められた場所以外にすてない」(53.0%)、「ものを大切に使う」(51.3%)の順で、上位5番目までは多くの回答数が寄せられ、環境意識の高まりがうかがえます。

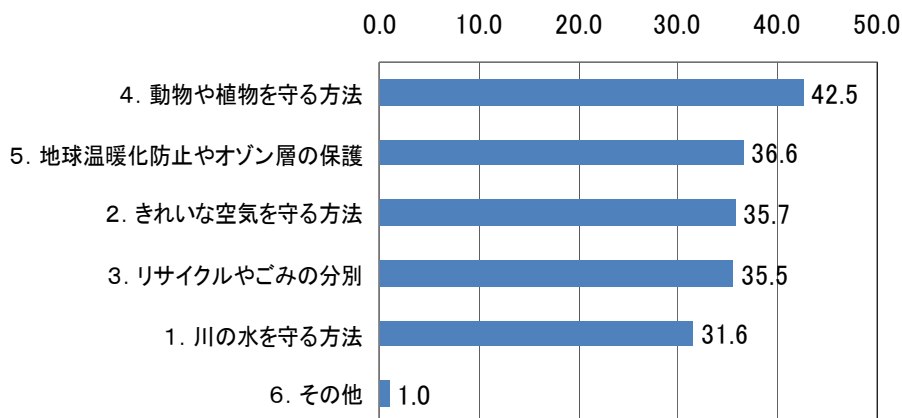
(質問7) あなたが環境を守るためにしていることはありますか。該当するものすべてに○をつけ



(8) 環境について学習したいこと

環境について学習したいことは 42.5%が「動物や植物を守る方法」で、次いで「地球温暖化防止やオゾン層の保護」(36.6%)、「きれいな空気を守る方法」(35.7%)の順となっています。

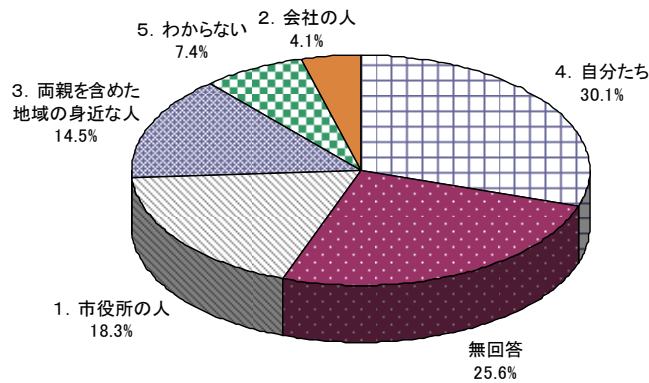
(質問8) あなたが環境について学習したいことは何ですか。該当するものすべてに○をつけてください。



(9) 環境を守るリーダーについて

環境を守るリーダーについては 30.1%が「自分たち」で、次いで「市役所の人」(18.3%)、「両親を含めた地域の身近な人」(14.5%)の順でした。前回のアンケートでも 35.9%が「自分たち」の回答で1番でしたが、「無回答」が前回 0.4%から 25.6%と大きく増えています。

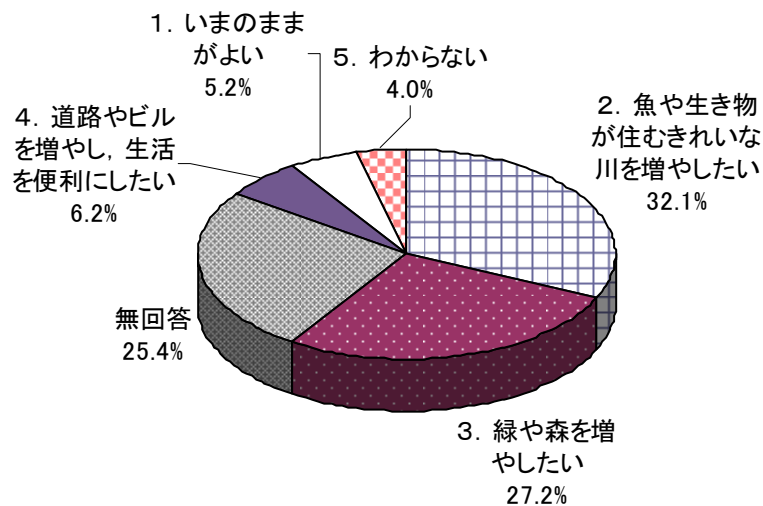
(質問 9) 環境を守るためにいちばん一生けんめいに考えたり、参加したりするのは誰がよいと思いますか。いずれかひとつに○をつけてください。



(10) おとなになったら龍ヶ崎市をどのようにしたいか

おとなになったら龍ヶ崎市をどのようにしたいかについては 32.1%が「魚や生き物が住むきれいな川を増やしたい」で、次いで「緑や森を増やしたい」(27.2%)の順で、小学生は豊かな自然環境をつくりたいという希望がうかがえます。

(質問 10) あなたがおとなになったら、あなたの住んでいる龍ヶ崎市をどのようにしたいですか。いずれかひとつに○をつけてください。



(11) 自由意見

(質問 11) 環境についてあなたのご意見を自由に記入してください。

意見内容	件数
緑や森を増やしたい	103
地球温暖化を防ごう！	72
ポイ捨てごみを減らしたい	71
川をもっときれいにしてほしい	35
野生生物を守りたい・増やしたい	26
省エネを進める	23
リサイクル活動を進める	21
もっと環境問題を考えよう！	15
みんなでごみを減らす	11
生活の中で無駄をなくしていきたい	7
もっと環境の勉強をしたい	7
オゾン層の破壊が心配	5
環境を守るためにできることから行動する	5
生活にしやすい便利な町にして	4
ごみの分別を徹底する	3
交通騒音をなくしてほしい	2
地球をきれいにしたい	2
排気ガスを無くしたい	2
緑や花のある町にしたい	2
砂漠化を防ぎたい	1